

# 地方史情報 110

2012年8月

「写真経験の写真史」刊行の経緯

水谷 清佳

はじめに、本書に至る経緯について記しておきたい。本書の構想の発端は2008年に大阪市立大学都市研究プラザに開設された上田貞治郎写真史料アーカイブ編纂室の発足に遡る。編纂室は、戦前期関西を代表する老舗写真材料商上田写真機店の創業者であり、稀代の古写真蒐集家であった上田貞治郎（1860～1944）が遺した「上田文庫」旧蔵の数千点の文書史料と写真史料の調査研究・デジタル化に取り組んできた。

その過程で、編纂室研究員の後藤真、緒川直人、水谷清佳の3名は、上田文庫史料群を素材に、各々情報歴史学・アーカイブズ学、社会史・メディア史、韓国文化研究の立場から研究をすすめてきた。

後藤は、複数の写真群で任意に構成されるアルバム史料の形態に注目し、「史料群」としてのアルバムの史料構造を反映させたデジタル・アーカイブの製作と、その知見に基づく写真史料論の開拓に取り組んできた。緒川は、古写真蒐集家上田貞治郎のコレクション形成を事例に、1930年代の都市社会における「古写真蒐集家の世界」の胎動と「日本写真史学」という民間学の誕生の関係を、都市社会史・写真史料論的に検討してきた。水谷は緒川とともに、「上田写真機店京城支店関係史料」の考証に着手し、植民地朝鮮の写真業界形成過程と上田写真機店京城支店・同大阪本店の関係性や、上田写真機店関係者の植民地京城社会での生活史を分析している。（中略）

このようにして形成されてきた我々の写真史料研究のスタイルは、自ずと日本写真史学とは異なる地平を拓くことが期待できた。なによりも歴史学の空白域を埋める一里塚となるはず——そんな淡い期待感があったのである。

以上のような調査研究と問題意識を背景に、2010年3月27日、大阪市立大学学術情報総合センターで開催されたのが、本書の直接的な母胎となるシンポジウム「写真経験の社会史—写真資料論の可能性—」であった。「日本写真史研究の構図を問いなおす」という、現時点からすれば大上段すぎるキャッチコピーではあったが、この問いに対して相応しいシンポジストを招聘することができたと自負している。（中略）

本書は、シンポジウムでの各報告をもとに、以降の研究調査の成果を盛り込んで新たに執筆された論考をまとめた論文集である。

（緒川直人・後藤真編『写真経験の社会史』、2012.5、小社刊、「本書の経緯」より）

# 地方史研究雑誌目次速報 飯澤文夫 編

\*本誌に掲載した雑誌に関するお問い合わせは、発行元に直接お願いします。

## 北海道・東北

◆北海道の文化 北海道文化財保護協会  
〒060-0002札幌市中央区北二条西7丁目  
かでの2・7ビル9階 TEL011-231-4111  
1961年創刊  
◇84 2012.2 A5 78p  
巻頭言 文化財保護は地域おこし  
國づくり 舟山 廣治  
文化の変遷と継承 齊藤 傑  
北海道の石炭輸送と石炭船積設備  
二宮 康昌  
夕張川沿いの人たち 卜部 信臣  
安田巖城のこと 安田 弘  
札幌から帯広へ—その軌跡 銅版画家・開拓使時代の中村月嶺  
の作品を展覧して 福井 卓治  
開拓使札幌器械場の歴史と技術  
特に厚別山水車器械場の実態に  
ついて 山田 大隆  
『北海道の文化』に初めて寄稿し  
た頃のことなど 佐々木利和  
歴旅を楽しむ 山田 雅也  
野付通行屋遺跡めぐり “鴻之舞金山跡地”と“丸瀬布い  
こいの森”を結んで「文化の道」  
へ 横平 弘  
余市町フゴッペ貝塚の土器を尋ね  
て 長谷川 徹  
◆北海道れきけん 北海道歴史研究会  
〒063-0037札幌市西区西野七条9-2-12  
田中貢方 TEL011-667-2137

homepage3.nifty.com/tm3053/  
◇77 2012.1 B5 8p  
新年のごあいさつ 田中 貢  
北の土木建築(中) 丹野 忠志  
高倉新一郎著“古文書のてびき”より 武四  
郎の幕末の動きを知る 今野 淳子  
受贈会報／事務局日より  
◆文化情報 北海道文化財保護協会  
〒060-0002札幌市中央区北二条西7丁目  
かでの2・7ビル9階 TEL011-231-4111  
www10.ocn.ne.jp/~bunkazai/  
◇330 2012.3 B4 4p  
文化財の新しい時代 玉井日出夫  
平成24年2月23日開催「文化財講  
演会」要旨 演題 人の慈愛と  
絆で育てられた松前の桜 浅利 政俊  
北国のイネ物語(上) 佐々木多喜雄  
「赤れんが庁舎物語」の出版 舟山 廣治  
文化審議会の答申 函館市の高龍  
寺、本堂を含む建造物が登録有  
形文化財に  
総会日程他  
遠軽町埋蔵文化財センター 松村 倫文  
先人の気迫と闘魂を現在に伝える  
坂井 弘治  
旭山動物園の発展とは  
一功の根源を考える 山田 大隆  
世界文化遺産への登録をめざして  
(9) 縄文世界遺産推進室の発足  
北海道教育庁生涯学習推  
進局文化・スポーツ課  
「赤れんが庁舎物語」の執筆・編

集を終えて 北室かず子  
赤れんが鳥瞰 林 杏里  
第9回「札幌百科」のご案内 札幌  
の老舗探訪—創業81年「カナ  
リヤ」のあゆみ  
札幌市「手稲郷土史研究会」紹介  
◆青森県の民俗  
青森県民俗の会(発売:岩田書院)  
〒030-0802青森市本町2-8-14 青森県立郷  
土館学芸課内 TEL017-777-1585 年3000円  
2001年創刊 www.k3.dion.ne.jp/~folkrore/  
◇10 2012.2 A5 90p 1500円  
青森県昔話結句試論  
—青森県外からの視点で 新田 寿弘  
子安弘法大師信仰の下北半島にお  
ける歴史的展開—女性の講から  
見る産育と信仰生活の近代 長谷川方子  
資料報告  
民俗の文献資料を探る一機関誌  
『三戸郡教育』『郷土号』を例  
に 小熊 健  
マタギの伝承—青森県下北郡川  
内町字畑集落の民俗資料を中  
心に 高松 敬吉  
わけもの(若者)組の姿—青森市  
細越周辺 若佐谷五郎兵衛  
会関係記事／会誌『青森県の民俗』  
バックナンバー (1〜9号)  
◆うそり 下北の歴史と文化を語る会  
〒035-0076青森県むつ市旭町13-48  
相馬方 TEL0175-24-3262 年2000円  
1965年創刊  
◇48 2012.2 A5 141p 1200円  
下北の滝・巨木・奇岩—写真と文  
瀬川 威  
斗南藩権大参事山川浩の生きざま

—思想と行動の深層(2) 葛西 富夫  
大湊における明治・大正期の海軍  
遺産 飛内 進  
下北杣夫と室蘭南部藩陣屋  
—待遇と賃金をめぐって 富岡 一郎  
文政九丙戌年 當座帳(1826)の人  
人 前田 哲男  
昭和と下北歳時記(7) 小川 洋一  
大湊海軍スキー発祥百周年 長内 誠一  
東北太平洋に関する考察 澁谷 聰志  
大日寺六地藏と十王について 三浦順一郎  
◆いわて文化財 岩手県文化財愛護協会  
〒020-0102岩手県盛岡市上田字松屋敷34  
岩手県立博物館内 TEL019-661-9688  
1970年創刊  
◇248 2012.3 A4 12p  
《特集 新天地の町づくり村づくり  
津波にも負けず》  
三陸沿岸の復興なくして、岩手の  
復興はあり得ない 大内 豊  
復興と地域の文化財 金 賢治  
カワシンジウガイを村の天然記念  
物に指定 大崎 英雄  
伝統と文化を支えに 岩船 敏行  
文化財保護を復興の力に 伊藤 正治  
文化財にもっと関心を 石岡 三郎  
岩手歴史民俗ネットワークの大槌  
町・被災文化財調査 佐藤由紀男  
「秀衡塗」発祥のナゾ 工藤 紘一  
続平泉志(12)  
毛越寺十八坊／照井堰 及川 和哉  
文化財愛護協会の活動の歩み(3)  
／文化財愛護協会の活動の歩み  
(4)  
24年度は「努力目標の予算」 今  
年度二度目の総会／「東北遊日  
記」の上巻全訳終える 古文書

講座／精皆勤者は十人 郷土史  
学習会

◆道鏡を守る会通信  
〒989-6156宮城県大崎市古川西館3-4-35  
本田義幾方 TEL0229-22-7364 年3000円

◇95 2012.2 B5 8p  
守る会にサブタイトル／供養祭  
小勉強会 辻さんの発表 神々の  
名前 物部氏／小勉強会 鈴木  
さんの発表 「雑」と方位・時刻  
訃報 志田詢一会員ご逝去／役員  
会等の意見交換からの紹介

◇96 2012.3 B5 8p  
私たちの道鏡さんが生活した場所  
は史書にきちんと書かれていま  
す  
日本語を考える(2) 鈴木 暁子  
河内の古代寺院物語 山西 敏一  
おたより

◇別冊1 2012.1 A4 6p  
《3・11ココ再生へ》  
馬場中山を訪ねて／宮城県内でも  
文化財や古文書レスキュー／東  
北学院大学での発表から／聞き  
取り 釜谷あたりで

◇別冊2 2012.2 A4 4p  
《3・11ココ再生へ》  
再生へ／おたよりから／論評・報  
告から／おたより、聞き取りか  
ら

◇別冊3 2012.3 A4 4p  
《3・11ココ再生へ》  
阪神淡路大震災 再生へ／やっと  
謝罪(大川小のことで)／おたよ  
りから／『明治38年宮城県凶荒  
誌』(大正5年刊より)／耳にし  
たことから／再生へ／おたより

◆東北民俗 東北民俗の会  
〒980-8576仙台市青葉区川内27-1 東北大  
学大学院文学研究科 宗教学研究室  
FAX022-795-6022 年4000円 1966年創刊  
tohokuminzoku.com

◇45 2011.6 A5 66p 1000円  
宮城県の猫薬師碑 石黒伸一郎  
『会津農書』にみる田うないの民  
俗 佐々木長生  
雪女の一考察 稲 雄次  
紀伊半島東岸のボラ網漁 川島 秀一  
キノコと『遠野物語』 根本 敬子  
伝統工芸を支える職人仕事―「京  
都ブランド」化された蒔絵筆 柏井 容子  
面の中から見る神楽―牡鹿法印神  
楽の「実演」を通じて 星 洋和  
平成22年度公開講演会記事  
東北民俗の会創立50周年記念祝賀  
会について  
三崎一夫先生を偲んで  
平成22年度東北民俗の会 年次報  
告

◆秋田歴研協会誌  
秋田県歴史研究者・研究団体協議会  
〒010-1341秋田市雄和新波本屋敷90  
工藤一紘方 TEL018-887-2007 1996年創刊  
akita-nct.ac.jp/~wakino/rekiken.html

◇48 2012.1 B5 24p  
《特集 春の歴史フォーラム  
久保田城下のくらし・文化(完結編)》  
近世後期における対外危機と横手  
給人の行動 畑中 康博  
秋田の城下のくらし、文化一大館  
城下の給人の紛争をとおして 清野 宏隆  
本荘藩と本荘城下 半田 和彦  
「城下のくらしと文化」シリーズ  
を終えて 塩谷 順耳

用語解説 佐竹式部家／本御家中  
・角館住居 半田 和彦  
歴史情報 『ひなのあそび』にみ  
える五城目の盆踊りを考える  
(上) 麻生 正秋  
歴史情報 新刊紹介 神宮滋著  
『鳥海山 縁起の世界』を読む 工藤 一紘  
文献情報／催しもの情報／事務局  
だより

◆北方風土 北方風土社  
〒019-1541秋田県仙北郡美郷町土崎字上野  
乙1-254 森本彌吉 TEL0187-85-4027  
1980年創刊

◇63 2012.1 A5 164p 2000円  
鳥海山と承和の遣唐使 田牧 久穂  
七里が浜子守歌と沼津の子守歌 本城屋 勝  
日本の内閣はなぜ短命なのか  
―その政治的考察 稲 雄次  
新羅三郎義光公墓の所在  
―伝来の墓所地は不明 神宮 滋  
八戸市の市名地名と陰陽五行―八  
戸市の町名の由来・陰陽道の町  
(三日町、十三日町、八日町、  
六日町、朔日町など) 松橋 由雄  
忠姫様のこと―秋府・登都 原 千秋  
新山権現考 佐藤 松雄  
平泉の地に「浄土思想」を基とし  
た平和文化の花を開いた奥州藤  
原氏 高橋 暁樹  
史料編 六郷御役屋日記(慶応4年  
～明治元年) 黒澤 三郎  
北方風土通信

◆季刊東北学  
東北芸術工科大学東北文化研究センター  
(発売：柏書房)  
〒990-9530山形市上桜田3-4-5

TEL023-627-2168 年10000円 2004年創刊  
gs.tuad.ac.jp/tobunken/  
◇30 2012.2 A5 302p 1905円  
《特集 東北の海―東日本大震災3》  
座談 大震災後の東北の自然と動  
物―放射能汚染の状況と狩猟の  
環境をめぐる 佐々木洋平／小原正弘  
／溝口俊夫／田口洋美  
論考 原発震災後に思う白虎隊と  
会津 川添 安直  
エッセイ 「勤王」秋田藩の苦悩  
―秋田藩士高瀬権平とその周辺 天野 真志

写真 二本松少年隊の歴史と東北  
星 亮一  
満蒙開拓青少年義勇軍を知ってい  
ますか？ 後藤 和雄  
山びこ学校 その後―大震災と原  
発事故にふれながら 佐藤藤三郎  
「命でんでんこ」の語り継ぎ―田  
畑ヨシさんの紙芝居「つなみ」山崎 友子  
東北大難魂見聞録―あなたへ 鏡 ともり  
体に刻まれた記憶  
―被災漁村を歩く(下) 川島 秀一  
〈東北〉と呼ばれた土地から 田附 勝  
波に消えた少年 岩崎 孝正  
3.11 それから 田口 洋美  
学生たちの3.11―震災と向き合う  
蛸原一平監修  
少しでもできること、意識し続  
けること 白石 明香  
受け入れるという事 阿久津真那  
生きることの実感 田山 雄貴  
普通って残酷だ 木村 真綾  
一歩前へ 千尋 美紀  
甘かった認識 原田 京葉  
あたたかさ 渡邊みなみ  
3.11の時の福島と原発問題 神 郁江

|                       |           |
|-----------------------|-----------|
| 帰宅難民となって              | 香取 千暁     |
| 私たちは「被害者」なのか          | 及川 葉月     |
| 島からのことづて (6) 最終回      | 越 越       |
| の国巡礼一幕末維新長州僧の足        |           |
| 跡をたどる旅                | 安溪遊地／安溪貴子 |
| 済州島の民俗 (30) 最終回       | 伝統農       |
| 法の東と西一生業民俗論 (23)      |           |
|                       | 高光敏／李惠燕   |
| 東シナ海 of 古層 (10) 最終回   | 2011      |
| 年秋 平島再訪一〈平島語字典〉       |           |
| から                    | 稲垣 尚友     |
| アジアの風のなかで (10) 最終回    |           |
| 森の声                   | 木村 文      |
| あの頃のこと (7) 最終回        | 父 金 利恵    |
| 連載・写真曼荼羅 (13) 新鋭編 (6) |           |
| 生命のミクロコスモス            | 山崎 裕      |

◆**南陽の歴史** 南陽の歴史を知る会会報  
〒999-2232山形県南陽市三間通361-8  
須崎寛二方 TEL0238-43-5299

◇187 2012.2 B5 12p  
北条郷の狂歌師たち 須崎 寛二  
吉良上野介は多忙だった 須崎 寛二  
乃木大将の手紙 須崎 寛二  
産業の発展と人々の生活  
―第208回学習会から  
漆木の栽培及び養蚕  
―第209回学習会から  
総会議案

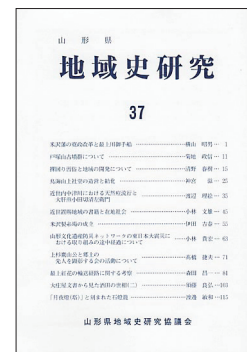
◆**まんだら** 東北文化友の会会報  
東北芸術工科大学東北文化研究センター  
〒990-9530山形市上桜田3-4-5  
TEL023-627-2168 年10000円  
1999年創刊 gs.tuad.ac.jp/tobunken/  
◇50 2012.2 B5 48p  
《特集 自然・エネルギー・放射能汚染》  
東北文化研究会センター公開講座

|                    |                 |
|--------------------|-----------------|
| 放射能汚染と東北の自然        | 田口 洋美           |
| 東北の自然エネルギーを語る      |                 |
|                    | 三浦秀一／岸本誠司       |
| 若者たちの東北 茅葺き文化を伝    |                 |
| える                 | 田上正典／吉野麻衣子／岸本誠司 |
| 特別寄稿 秋田県における茅葺き    |                 |
| 文化の現況              | 田上 正典           |
| リレー対談 若者たちの東北 (1)  |                 |
| 贈答の気持ちを支える仕事       |                 |
|                    | 加勢宏子／竹原万雄       |
| 池上冬樹の東北文学雑感 (10) 戦 |                 |
| 争、そして短歌に詠まれた慟哭     |                 |
|                    | 池上 冬樹           |
| 縄紋人のこころ (3) 自然への祈  |                 |
| り―土偶 (2) 土器型式編年と   |                 |
| 土偶の形態              | 安斎 正人           |
| 古文書解説405号室 (6) 結束力 | 中村 只吾           |
| 地域誌だより (23)        |                 |

『津軽学』次のテーマは 杉山 陸子  
『天晴れ！ 盛岡文士劇』刊行 滝沢真喜子  
かるた大会レポート 千葉 由香  
山野の草と暮らし 菅家 博昭  
表紙を飾るアーティストたち  
草薷裕 内藤 正敏

◆**山形県地域史研究**  
山形県地域史研究協議会  
〒990-0041山形市緑町1-9-30  
山形県文化環境部学術振興課分室内  
TEL023-627-7786 年2000円  
◇37 2012.2 A5 128p 1000円  
米沢藩の寛政改革と最上川御手船  
横山 昭男  
戸塚山古墳群について 菊地 政信  
裸回り習俗と地域の開発について  
清野 春樹  
鳥海山上社堂の造営と勧化 神宮 滋  
近世内中津川における天然痘流行

|                    |       |
|--------------------|-------|
| と大肝煎小田切清左衛門        | 渡辺 理絵 |
| 近世置賜地域の書籍と在地社会     | 小林 文雄 |
| 米沢製糸場の成立           | 伊田 吉春 |
| 山形文化遺産防災ネットワークの    |       |
| 東日本大震災における取り組み     |       |
| の途中経過について          | 小林 貴宏 |
| 上杉鷹山公と郷土の先人を顕彰す    |       |
| る会の活動について          | 高橋 捷夫 |
| 最上紅花の輸送経路に関する考察    |       |
|                    | 森田 昌一 |
| 大庄屋文書から見た酒田の世相 (2) |       |
|                    | 須藤 良弘 |
| 「月夜燈(塔)」と刻まれた石燈籠   | 渡邊 敏和 |



\*小林文雄「近世置賜地域の書籍と在地社会」  
は、近世の村請制が「学問する百姓」の「一  
定度の識字能力を前提」として成り立っていた  
ことが近年の研究で重視されるようになって  
きていることを受け、同地域に存在した蔵  
書群、本屋・貸本屋による流通の実態を通し  
て、地域社会の特質・文化状況を考察したも  
ので大変に興味深い。庶民（百姓）の読書と  
そのことによる地域社会への影響について、  
さらに調査、研究が深化されることを期待し  
たい。  
小林貴宏「山形文化遺産防災ネットワーク  
の東日本震災における取り組みの途中経過に  
ついて」は、中越地震をきっかけに結成され

た同ネットの組織形態、3.11以降の取り組み  
と課題を整理したものである。3.11以降、現  
地での資料救済、県内搬入による乾燥クリー  
ニング、広報などを行い、活動の輪は広がり  
つつあるが、元々緩やかな個人単位の組織体  
としてスタートしたという経緯もあって課題  
も浮き彫りになってきた。その一つは、自治  
体、学会、博物館などとの災害時対応につい  
ての協議体制の必要性、いま一つは地域史研  
究者、県市町村教育委員会、博物館等との連  
携の仕組み作りであるという。

◆**福島県史料情報** (助福島県文化振興事業団  
〒960-8116福島市春日町5-54  
TEL024-534-9193 2002年創刊  
www.history-archives.fks.ed.jp  
◇32 2012.2 A4 4p  
荻宿仲衛が持っていた磐梯山噴火  
の写真 磐梯山噴火の写真 (荻  
宿仲衛家文書) 渡邊 智裕  
俳人大内壺山ゆかりの資料 本間 宏  
官報掲載の磐梯山噴火記事 山内 幹夫  
公文書でみる明治時代 (2)  
万世大路事業誌 小暮 伸之  
震災と史料保存 本間 宏  
歴史資料館の一年 本間 宏

## 関 東

◆**茨城県史研究** 茨城県立歴史館  
〒310-0034水戸市緑町2-1-15  
TEL029-225-4425 1965年創刊  
www.rekishikan.museum.ibk.ed.jp  
◇96 2012.3 A5 108p  
茨城県における後期・終末期前方  
後円墳の地域性と階層性 黒澤 彰哉  
「坂東乱逆」と佐竹氏の成立一義  
光流源氏の常陸留任・定着を考  
える 高橋 修



再生される本分家関係一長岡・小  
諸・笠間各牧野家における同族  
的結合の構築過程 野口 朋隆  
茨城県下の近代区有文書と保存・  
引継 白井 哲哉  
歴史随想  
「広恵家ノ記録」について 木戸田四郎  
書評『茨城県立歴史館史料叢書14  
一橋徳川家文書 覚了院様御実  
録I』 辻 達也  
県史関係文献目録(35)

◆那須文化研究 那須文化研究会  
〒329-2752栃木県那須塩原市三島5-1  
那須野が原博物館 TEL0287-36-0949  
1987年創刊  
◇25 2012.2 B5 113p  
大田原市(旧湯津上村)品川台遺跡  
出土の撚糸文系土器群—那須地  
域における撚糸文期および終末  
期無文土器群の新資料の紹介 中村 信博  
下野那須資景知行帳に見える地名  
(1) 田代 誠  
高尾の能書伝説と花扇 鈴木 淳  
矢板・氏家の青麻碑 海老原郁雄  
〈黒羽地区プロジェクト調査報告書〉  
江戸時代後期における黒羽藩主大  
関家の最重要史料について 新井 敦史  
那珂川流域の河岸衰退と問屋仲間  
議定 大高 純一  
写真で見る戦後の東野鉄道黒羽駅  
跡周辺 久留生利美  
大名家文書(大関家文書)は語る  
(10)一領知朱印改め関係史料に  
ついて 新井 敦史  
地方文書は語る(10)一戊辰戦争下  
における那須郡百村四か村につ  
いて 中村 悟

新刊紹介 ブックレット 那須を  
とらえる1 中村 悟  
那須地区通信／栃木県文献一覽  
(2010追録)(2011)／那須文化研  
究会通信

◆群馬歴史散歩 群馬歴史散歩の会  
〒379-2154群馬県前橋市天川大島町317-1  
TEL027-223-2785 年4500円 1973年創刊  
www16.plala.or.jp/kuzira226/  
◇223 2012.3 A5 56p  
《特集 群馬の地名》  
地名の起源を考える 澤口 宏  
行幸田(みゆきだ) 渋川市行幸田  
／有馬(ありま) 渋川市有馬 中村 倫司  
湧玉(わくたま) 渋川市赤城町勝  
保沢字湧玉／川曲(かわまがり)  
前橋市川曲町 小池 照一  
筑井(うつほい) 前橋市筑井町 井野 修二  
敷島(しきしま) 渋川市赤城町敷  
島・前橋市敷島 阿佐美良雄  
玉村町の小字 御殿・御門・伽藍  
について 高橋 正一  
北下(きたしも) 北群馬郡吉岡町  
／陣馬(じんば) 北群馬郡吉岡  
町 福田 紀雄  
新田山から金山へ 太田市金山町  
ほか／矢太神水源と石田川 太  
田市新田大根町 茂木 晃  
金山丘陵の「越々山」  
太田市強戸町 須田 茂  
南毛神流川を遡行する 新井栄／齋藤憲衛  
倉内(くらうち) 沼田市東倉内  
町・西倉内町／老神(おいがみ)  
沼田市利根町老神／永井(なが  
い) 利根郡みなかみ町永井／  
菅沼(すげぬま)・丸沼(まるぬ  
ま)・大尻沼(おおしりぬま)

利根郡片品村東小川 中島 靖浩  
東国分(ひがしこくぶ) 高崎市東  
国分町／西国分(にしこくぶ)  
高崎市西国分町 松嶋 行雄  
高山彦九郎日記による歴史散歩  
(30)『丁酉春旅』(10) 正田 喜久  
激動昭和に生きた人々(10)  
東宮鐵男と武装移民 東宮 春生  
神保家(総社家)のお墓 神保 貞夫  
伝 山王庵寺出土の調度品 小山 宏  
れきさんサロン『郷土の歴史を  
たずねる』を出版の金井サトエ  
さん 山崎 正  
短歌 大和路  
飛鳥・薬師寺・中宮寺 平田 経子  
伊香保路と野田宿—『吉岡村誌』  
にみる野田宿・森田家 森田 均  
利根沼田の偉人たち マッサージ  
医療の開拓者 富岡兵吉 高山 正  
総会記念講演 大逆事件と群馬の  
青年たち—歴史小説『櫛の十字  
架』執筆裏話 石山 幸弘

◆上州文化 群馬県教育文化事業団  
〒371-0801群馬県前橋市文京町2-20-22  
TEL027-224-3960 1980年創刊  
www.gunmabunkazigyodan.or.jp  
◇129 2012.2 A4 14p  
巻頭言 生活と文化 樽井 哲  
ぐんまミュージアム散歩(1) 群  
馬県立近代美術館(高崎市綿貫  
町) 桑原 高良  
上野東歌探訪 北川 和秀  
群馬県教育文化事業団 INFOR  
MATION 第35回県民芸術祭  
参加「絹の国から」演劇制作事  
業 アトリエ公演 観覧者募集  
／平成24年度群馬県教育文化事

業団高等学校等奨学金 奨学生  
募集  
地域文化をつなぐ 奉額調査 千明 政夫  
書が放つエナジー 風 喜 人  
カフェの隅から 娘と娘 竹田 朋子

◆武尊通信 群馬歴史民俗研究会  
〒372-0031群馬県伊勢崎市今泉町1-1064-4  
1979年創刊  
◇129 2012.3 B5 4p  
沼田藩の漆年貢について 藤井 茂樹  
「女堀」と古代末・中世前期の上  
野国を巡る諸情勢 飯塚 聡  
第93回例会記事

◆郷土はとがや 鳩ヶ谷郷土史会  
〒334-0002埼玉県鳩ヶ谷市本町1-15-21  
花岡武司方 TEL048-281-3509 1977年創刊  
◇別冊 2011.11 A5 56p  
鳩ヶ谷郷土史会創立35周年記念  
鳩ヶ谷郷土史会会報総目録  
執筆者別 第1号(昭和52年5月)  
～第67号(平成23年5月)

◆埼玉史談 埼玉県郷土文化会  
〒350-0231坂戸市泉町12-5 大圖口承方  
TEL049-281-4983 年4000円 1929年創刊  
◇308 (58-4) 2012.1 A5 46円  
幡羅郡式内白髪神社考 森田 悌  
後北条氏の河越城仕置の実態 大圖 口承  
近世武蔵国里修験十玉院(上) 高橋 一  
莊園に関する小字地名について 高柳 茂  
慈光寺採集の古瓦 富田 靖雄  
中島撫山に関する一考察(下) 石井 昇  
表紙写真解説 年不詳阿弥陀三尊  
板碑(川口市赤井円通寺)  
口絵写真解説  
川越仙波河岸水運会社の引札

第627回 吉見百穴・松山城跡見学  
 第628回 藤岡歴史館・古墳群見学

◆日本の石仏  
 日本石仏協会（発売：青娥書房）  
 〒357-0067埼玉県飯能市小瀬戸29  
 TEL042-971-6512 年8000円 1977年創刊  
 www1.pbc.ne.jp/users/sekibutu/

◇141 2012.3 A5 80p 2100円  
 巻頭随想 石仏の知名度アップ活  
 動を！—それぞれの場で 坂口 和子  
 特集 小さな石仏にも歴史あり  
 小さな石仏にも歴史あり（第33  
 回石仏公開講座より） 福田アジオ  
 特集 石像「仁王」続  
 国東半島の石造仁王像と石工の  
 系譜（下） 渡辺 文雄  
 石仏論考  
 円光大師二十五霊場の石造物 村上 昭彦  
 石仏エッセイ  
 初めての中国石仏見学旅行 橘 慎男  
 「多久の肥前狛犬展」見学記 中野 高通  
 名号塔の知識(9)  
 浄厳と佐渡の念仏塔 岡村 庄造  
 「石」を知る(31) 小松 光衛  
 石燈籠入門(51) 嘉津山 清  
 石仏写真と私(31) 深い思いが石  
 仏に通じて… 山村厚子さん 杉本 康希  
 あ・ら・か・る・と—私の石仏案内  
 二度破壊を免れた阿弥陀像 早川 孝正  
 伊豆における高遠石工の庚申塔  
 川島 整

石仏交流  
 会員の広場  
 島田常雄／三代川千恵子／黄瀬三朗  
 2012年石仏写真展報告 中森 勝之  
 一泊石仏見学会報告 長野・安曇  
 野北部の道祖神巡り 浅見初枝／小島隆司

はがき通信 新井るい子／加藤和徳  
 第92回石仏見学会報告  
 池袋から雑司ヶ谷の石仏 前川 勲  
 石仏談話室／第36回総会報告／第  
 94回石仏見学会案内 海外石仏  
 研修旅行案内

◆佐倉市史研究  
 佐倉市総務部総務課市史編さん担当  
 〒285-0038千葉県佐倉市弥勒町78  
 TEL043-486-3478 1983年創刊

◇25 2012.3 A5 149p  
 『佐倉市史』考古編編さん中間報告  
 寺崎向原遺跡第37号方形周溝墓  
 出土の土器 柿沼 修平  
 古代の出土文字資料集成 小林 信一  
 講演録 戊辰戦争と佐倉藩—維新  
 期における譜代藩の動向 箱石 大  
 高岡新山遺跡出土の蔵骨器内の人  
 骨と鳥骨について 西本 豊弘  
 考古学からみた死と鳥のかかわり  
 —ハクチョウを表す例をつうじ  
 て 賀来 孝代  
 ハクチョウの骨出土と高岡遺跡群  
 について（まとめと展望—被葬  
 者は誰か） 内田 理彦  
 慶応四年堀田正倫の上京  
 —藩士の日記を素材に 宮間 純一  
 箱館の洋学者 木村隆吉小伝 濱口 裕介  
 資料紹介  
 佐倉藩子育掛・山崎由良治の由  
 緒書 藤方 博之  
 吉田家文書 祭礼諸入用控帳 土佐 博文  
 投稿 出羽三山碑と宿坊加護帳に  
 みる佐倉の人々—佐倉市下志津  
 ・上志津・小竹の例 田中 征志  
 市史編さん事務局から 資料調査  
 報告 吉田家文書の概要／吉田

家文書の伝存状況記録

◆房総石造文化財研究会会報  
 〒270-0221千葉県野田市古布内1682-3  
 石田年子方 TEL04-7196-3375  
 年3000円 1980年創刊

◇112 2012.1 B5 8p  
 謹賀新年 沖本 博  
 新年懇談会のお知らせ／石仏勉強  
 会のお知らせ／石仏見学会のご  
 案内  
 新刊資料紹介 写真集 房総に息  
 づく出羽三山信仰の諸相／小見  
 川の石造物—中央地区編／史談  
 八千代 特集 旧萱田村の総合  
 研究そのⅡ  
 松戸市の石仏(1)  
 長養寺の白樂天王宮塔 入谷 雄二  
 会員寄稿 贅女(ごぜ)奉納の手水  
 石と感謝の石碑 蔵 由美  
 石仏紹介 鋸南町・善福寺の達磨  
 を抱く童子 石田 年子

◆アーカイブズ  
 独立行政法人国立公文書館  
 〒102-0091東京都千代田区北の丸公園3-2  
 TEL03-3214-0621 www.archives.go.jp

◇46 2012.2 A4 88p  
 〈特集 今日のアーカイブズ—デジタル時代  
 の法制・アクセス・保存 EASTICA 第10  
 回総会及びセミナーより〉  
 まえがき—EASTICA 第10回総  
 会及びセミナーについて  
 EASTICA 第10回総会及びセミ  
 ナー・プログラム  
 EASTICA 第10回総会及びセミ  
 ナー開会式 蓮舫内閣府特命担  
 当大臣挨拶

レコードマネジメントと「開かれ  
 た政府」改革—オーストラリア  
 の事例 パーバラ・パース  
 知識創造に向けたデジタルアーカ  
 イブ 馬場 章  
 日本における公文書管理法の制定  
 と今後の課題 宇賀 克也  
 デジタル時代における档案の保存  
 及び利用に関する法的枠組み ソン・ヤン  
 2011年、日本のアーカイブズ—デ  
 ジタル時代の法制、アクセス、  
 保存 中島康比古  
 韓国における電子記録管理システ  
 ム キム・ヒョングク  
 モンゴル国家計画の実施とその動  
 向 ゴルボー・ダシニヤム  
 香港の公文書の「保存」と「廃棄」  
 に関する問題—香港におけるア  
 ーカイブズ法の必要性について  
 サイモン・チュウ  
 デジタル時代におけるアーカイブ  
 の保存、利用公開、法制—マカ  
 オ特別行政区の事例  
 ベロニカ・チャン・カー・イー  
 アジ歴の実績と今後の展望 平野健一郎  
 アジ歴設立10周年記念シンポジウ  
 ムの概要 大野 太幹  
 被災アーカイブズを救え！—「悲  
 惨」から「明日への希望」の発  
 見へ 高山 正也  
 第43回国際公文書館円卓会議(CI  
 TRA)参加報告 中山 貴子  
 被災公文書等修復支援事業の実施  
 について  
 アーカイブズ研修Ⅲ等の開催と  
 「国立公文書館が実施する平成  
 24年度研修計画」について

◆明日を拓く／解放研究

東日本部落解放研究所  
〒111-0024東京都台東区今戸2-8-5  
TEL03-5603-1861 1993年創刊  
◇93/24 (38-3) 2012.1 A5 219p 2000円  
「武州鼻緒騒動」関係史料集成(後)  
間々田和夫／大熊哲雄  
／畑中敏之／廣畑研二

史料目次・解題／柏原村人別御  
改帳(穢多)一天保12年／如意村  
弁之助の道案内推薦状／高橋貞  
樹著『特殊部落の歴史と水平運  
動』抄／高橋貞樹著『特殊部落  
一千年史』(初版)抄、高橋貞樹  
著『特殊部落史』(改訂版)抄、  
高橋貞樹著『特殊部落史』(第3  
版)抄／栗須七郎著『水平の行  
者』抄／平野小釵著「武州長瀬  
騒動」／『水平新聞』第10号(大  
正15年9月1日)／三好伊平次著  
『同和問題の歴史的研究』抄／  
森清一著『武州鼻緒騒動秘史』  
抄／「武州鼻緒騒動」関係資料  
修正補遺編の編集について

「武州鼻緒一揆」について一鼻緒  
一揆の全体像と今後の課題 間々田和夫  
連載 古文書を楽しむ(5)

一大山唐銅灯籠奉納文書 古文書を読む会  
日本社会主義同盟と水平社 廣畑 研二  
◇94 (38-4) 2012.2 A5 123p 1000円

《特集 東日本部落解放研究所  
第25回研究者集会》  
特集にあたって 編集部  
教育分科会

まとめ 差別と向き合う一人権  
・同和教育の現状と課題 教育部会  
報告 「ことば」をめぐる一  
外国にルーツを持つ子どもた

ちに必要なこととは 柿本 隆夫  
報告 Mから学んだこと 岩崎 貴子  
佐山分科会 石川さんの無実を証  
明する調査報告  
報告 人口胃液による赤飯・カ  
レーライス・トマト・ナス消  
化実験一被害者は下校後、食  
事をした後に殺された

内藤武／雛元昌弘  
報告 石川さんの文字とはしか  
なるものか一新証拠 5.23上  
申書 から見えてくるもの 吉田 健介  
報告 偽装された脅迫状と石川  
さんの筆記能力の隔たり一石  
川さんの筆記能力の時系列分  
析と脅迫状との比較検討 雛元 昌弘

全体会  
地元報告 神奈川における部落  
解放運動とこれからの人権問  
題の課題 根本 信一  
全体会・歴史分科会及びフィー  
ルドワークの概要

本の紹介 友常勉著『脱構成的叛  
乱一吉本隆明、中上健次、ジャ  
・ジャンクー』戦後アジアのな  
かのジェンダー・部落問題への  
問題提起に立ち会う(下) 吉田 勉  
会員・読者のページ／活動日誌

◆足立史談

足立区教育委員会足立史談編集局  
〒120-0001東京都足立区大谷田5-20-1  
足立区郷土博物館内 TEL03-3620-9393  
◇528 2012.2 A4 4p

『昭代樂事』の人々(5)  
名勝指定のあとさき 矢沢幸一朗  
五兵衛新田のおはなし(1) 増田 光明  
千住のやっちゃ場と汐入の八百屋

一野菜売りと空襲 中瀬 一郎  
復元都営住宅のモノ語り(3)  
旭味の巻 増田 健一  
江戸消防記念会第十一区  
大盃の儀 鈴木 志乃  
◇529 2012.3 A4 4p  
二つの富士講祭具  
一千住元講の系譜 萩原ちとせ  
五兵衛新田のおはなし(2) 増田 光明  
区内の各家に伝わる禁忌 鈴木 志乃  
復元都営住宅のモノ語り(4)  
花王ワンダフルKの巻 増田 健一

◆足立史談会だより

〒120-0001東京都足立区大谷田5-20-1  
足立区郷土博物館内 TEL03-3620-9393

◇287 2012.2 A4 4p  
コラム教育史料 終戦直後の日本  
の教育(120) 新教育指針 第  
一部 後編 新日本教育の原点  
第五章 体育の改善 堀川 和夫  
神品清明上河図を見学して 安藤 義雄

1月探訪 港七福神巡拝  
新春三題 出初め式 梯子乗り／  
じんがんなわ 大乘院／初釜と  
寿獅子 郷土博物館

2012年桜寄贈100周年 記念式典  
◇287別冊 2012.2 A4 4p  
竹内秀夫編「新聞・官報に見る足  
立」から 五色桜見物の賑わい  
と名勝指定まで 荒川堤の桜を  
めぐる新聞報道 矢沢幸一朗

◇288 2012.3 A4 8p  
荒川堤の桜 ワシントンへ贈って  
百年 記念講演会／4月探訪案内  
コラム教育史料 終戦直後の日本  
の教育(121) 新教育指針 第  
一部 後編 新日本教育の原点

第五章 体育の改善 堀川 和夫  
足立区の登録文化財を観る 有形  
文化財(工芸品) 源証寺梵鐘  
1口／西門寺半鐘 1口／胃付具  
足 1具  
足立史談カルタ紹介  
「よ」四ッ家二ツ家一軒家  
山手234番館(当日は修理中でし  
た) 横浜山手 西洋館訪問 (矢沢)  
サクラあちこち  
巨木・古木・珍種を訪ねる 谷内 英明

◆板橋史談 板橋史談会

〒174-0076東京都板橋区上板橋2-30-7-104  
TEL03-5398-2682 1966年創刊

◇268 2012.1 A5 27p  
《特集 小、中学校の頃の学校休みの思い出》  
小学校の頃の夏休みの思い出 星野 紀昭  
小・中学校夏休みの思い出 猪瀬 尚志  
小学校の夏休みの思い出

一青森県弘前市のねぶた祭り 木村 榮作  
一枚の写真から(8)  
にぎやかなお正月一昭和40年 泉 貞代  
武蔵千葉氏と石浜城(江戸名所図  
会と新編武蔵風土記稿から) 井上 富夫

◇269 2012.3 A5 27p  
篤農の人 田上彦一翁の生涯 石塚 輝雄  
ツナミ 山口 感子  
三月十一日のこと 猪瀬 尚志  
一枚の写真から(9) 小学校のP  
T A活動に参加したところ 泉 貞代  
写真ニュース(23) もう一つの田

遊び(赤塚氷川神社) 井上 富夫  
ひろば 第10回「櫻井徳太郎賞」  
授賞式 大澤 鷹遼

◆奥武蔵

奥武蔵研究会

〒169-0075東京都新宿区高田馬場2-10-12  
加藤恒彦方  
◇384 2012.3 B5 25p  
ディスクバー奥武蔵・秩父 加藤 恒彦  
知って楽しい三角点の豆知識 町田 尚夫  
梅林山梅松院龍王寺の口伝 酒井 昌樹  
奥武蔵、秩父の獅子舞(39)  
一入間川、八幡神社の獅子舞 関口 洋介  
奥武蔵・秩父地域に於ける山岳遭  
難 町田 尚夫  
山行報告

◆GCAS Report 学習院大学大学院人文研  
究科アーカイブズ学専攻年報  
〒171-8588東京都豊島区目白1-5-1  
TEL03-3986-0221  
www.gakushuin.ac.jp/univ/g-hum/arch/

◇1 2012.2 B5 109p  
創刊の辞 安斎 正人  
講演 記録のパフォーマティヴ・  
パワー

エリック・ケテラール／森本祥子訳  
論文 町村役場における兵事係の  
記録管理―大郷村兵事係文書を  
事例として 橋本 陽  
研究ノート 廃棄すべきか、残す  
べきか―オーストラリア「ハイ  
ナー事件」に学ぶ 平野 泉  
書 評

Sam Kula Appraising  
Moving Images: Assessing  
the Archival and Monetary  
Value of Film and Video Rec  
ords 児玉 優子  
太田富康『近代地方行政体の記  
録と情報』 渡邊 佳子  
鵜飼哲＋高橋哲哉編『「ショア  
ー」の衝撃』 宇野 淳子

報 告  
島根県飯南町「旧赤来町役場文  
書」調査プロジェクトについ  
て 安斎 正人  
韓国記録管理 人材育成の現場  
―「学習院大学東洋文化研究  
所 グローバル東アジア学40」  
派遣報告 齋藤 柳子  
Keeping Archives を読む―  
GCASサブ・ゼミナール2011  
活動報告 大木悠佑／齋藤歩／  
雪石忠宏／澁谷梨穂

◆関東近世史研究  
関東近世史研究会（発売：岩田書院）  
〒162-0843東京都新宿区市谷田町2-15-2  
法政大学大学院 日本史学研究室気付  
年4000円 www.kankin.info  
◇71 2012.2 B5 151p 2000円  
《2010年度大会特集Ⅱ 下級武士社会と関東》  
大会報告・コメント

維新期、旗本家・家臣団解体過  
程の検討 三野 行徳  
大会討論要旨  
江戸幕府の武家屋敷敷地書上令 松本剣志郎  
文政期における鷹場と江戸―文政  
6年の浅草寺境内普請統制を中  
心に 山崎 久登  
〈企画例会「関東近世史研究と自治体史編纂  
―第3回 埼玉県〉  
企画例会趣旨文 関東近世史研究会企画局  
『新編埼玉県史』編さん事業と県  
立文書館 重田 正夫  
埼玉県の市町村史編纂の特徴と今  
後について 実松 幸男  
埼玉県における自治体史編纂と近  
世史研究―関東近世史研究会と  
埼玉県地方史研究会の活動を中

心に 細野健太郎  
企画例会討論要旨  
企画例会参加記  
“自治体史編纂事業の意義”とは  
なにか 工藤 航平  
これからの地域史研究の在り方  
とは―「関東近世史研究と自  
治体史編纂」第3回埼玉県に  
参加して 高木 謙一  
会告 山中清孝氏を悼む 大館 右喜  
概報 受贈図書目録

◆北区史を考える会会報  
〒115-0052東京都北区赤羽北1-3-10 大澤  
栄美方 TEL03-3907-0040 1986年創刊  
◇103 2012.2 B5 10p  
第30回定期総会 林 健一  
第347回史跡研究会 11月15日(火)  
明治大学博物館見学 大澤 榮美  
第348回史跡研究会 12月1日(木)  
文京ふるさと歴史館と東京大学  
総合研究博物館見学 馬場 永子  
ぶらり歴史散歩(2)  
王子・上野・浅草 豊島 信夫  
第349回月例研究会 1月29日(日)  
王子稲荷と江戸市民 加藤 貴  
寄稿 王子の町起こしを考える 高木 基雄

◆郷土史 八王子市川口郷土史研究会  
〒192-0151 東京都八王子市上川町3160-9  
車田勝彦方 TEL042-654-3101  
◇33 2012.1 B5 16p  
「呼ばわり山」 車田 勝彦  
平成23年度総会・新年会  
甲陽鎮撫隊の話を聞く 伊藤 勝之  
特別寄稿 最後の軍歌 瀬沼 和重  
平成23年春の見て歩き 武蔵陵と  
その周辺、旧甲州街道を歩く 秋山 勝男

北村透谷碑移転除幕式に参加して 高澤 寿民  
東日本大震災に思う  
古典からの贈り物 吉田 待江  
郷土史講演会 八王子市生涯学習  
センター川口分館共催 説経節  
の由来と実演―解説・川口と説  
経節 宮川孝之／回想・写し絵  
の興行 久保喜一 杉田 博  
平成23年度川口中学校総合学習  
「地域学習」指導報告 齋藤 三男  
郷土俳壇 久保喜一／瀬沼忠吉／船越保  
江戸の町 女性のくらしと文化  
原采蘋の行きかた 女性史―  
クルの講演から 古坂 容子  
平成23年度秋の史蹟巡り 「国立  
歴史民俗博物館」訪問記 石井 睦男  
『歴史読本』の取材を受ける―二  
月郷「我ら歴史好き」で紹介  
聞書 川口・少し昔の暮らし(4)  
瞽女さんと一悦庵―井出敏夫さ  
ん 岡村繁雄／伊藤勝之  
行事報告 一年を振り返る

◆交通史研究 交通史研究会  
〒365-0023埼玉県鴻巣市笠原1435-1  
波田野富信気付 1976年創刊  
www.soc.nii.ac.jp/jstc/  
◇76 2012.2 A5 98p  
《第37回大会共通論題「海上交通とネットワ  
ーク」特集号》  
趣旨説明 第37回交通史研究会大  
会 共通論題「海上交通とネッ  
トワーク」 常任委員会  
共通論題論文  
中世浅草地域における海上交通  
と流通 盛本 昌広  
瀬戸内塩田のネットワークと情



報交換 落合 功  
大正・昭和初期の大阪港と経済  
団体一大阪商工会議所を中心  
に 伊藤 敏雄  
小麦と大豆をめぐる流通ネット  
ワーカー東京湾・相模湾の湊  
と醤油や味噌の醸造地帯 西川 武臣  
十字路『月刊文化財』の交通史  
関係記事 小田 匡保  
書評 山内譲編『古代・中世伊予  
の人と地域』 鴨頭 俊宏  
例会報告要旨 橘敏夫／和田／佐藤三知男  
巡見報告 本坂通(姫街道)を歩く  
宮川 充史  
臨時総会の報告

◆城郭だより 日本城郭史学会会報  
〒174-8691東京都板橋区郵便局私書箱50号  
TEL03-3967-1948 1993年創刊

◇76 2012.1 A4 6p  
姫路城大天守の幻の窓―最上階壁  
の中から窓枠みつける  
玉縄城の知られざる遺構―玉縄築  
城五〇〇年記念見学会・シンポ  
ジュウムに参加して 枝重 武士  
最近の城郭ニュースから 龍野城  
に模擬天守／大内氏館庭園の整  
備／三原城から玉縁石列出土  
最近の注目される城郭関係図書か  
ら 風間西夫著『多摩の大石  
氏』、杉浦昭博著『近世栃木の  
城と陣屋』、戦国大名六家を支  
えた武将たち『戦国大名の四天  
王烈伝』  
各地の城郭研究会活動から／10月  
肥前の城めぐり旅行会／好評頒  
布中の報告書・出版物

◆書籍文化史 鈴木俊幸  
〒192-0393東京都八王子市東中野742-1  
中央大学文学部3833号室  
TEL042-674-3789 2000年創刊

◇13 2012.1 A5 175+31p  
『唐詩選墨本』広告の嘘？  
一河保寿についての些話 岩坪 充雄  
静斎寿山著作書目稿―書肆・平林  
堂との関係をめぐって 神林 尚子  
『甲冑書目録』について 中澤 伸弘  
古活字版悉皆調査目録稿(3) 高木 浩明  
奈良女子高等師範学校板本書誌目  
録(1) 磯部敦／早川由美  
長野県行政文書より旧長野県書籍  
文化・メディア関連史料(4)  
2011年度中央大学F L P 鈴木ゼミ  
『増補改訂 近世書籍研究文献目  
録』補遺(5) 鈴木 俊幸

◆新西郊文化 新西郊文化研究会  
〒168-0071東京都杉並区高井戸西3-11-7

◇1 2011.12 A4 31p  
序文  
新西郊文化刊行に寄せて 萩原 弘道  
新西郊文化刊行の経緯 小田 静夫  
旧石器時代の炭化物集中部につい  
て―杉並区内の事例をもとに 宮下 数史  
開店祝いの絵びらについて 幸田有美子  
東京女子大学構内堆積物からみた  
立川期以降の古環境―微粒炭と  
植物珪酸体を中心として  
田中義文／橋本真紀夫  
研究ノート 弥生時代の砥石にみ  
られる痕跡について―方南峰遺  
跡の事例から 中島 将太  
連載 杉並の考古学史(1)  
―最初の「遺跡発見地」考 小田 静夫

◆西郊民俗 西郊民俗談話会  
〒160-0016東京都新宿区信濃町17-1  
大島方 年2000円 1957年創刊  
www11.ocn.ne.jp/~oinari/  
◇218 2012.3 B5 33p  
都市祭礼の魅力と存続(上)  
一砺波夜高祭の事例報告 萱岡 雅光  
池袋の天神 大島 建彦  
茨城県における大山石尊信仰の諸  
相(2) 近江 礼子  
「アイヌ神謡」の修辭パターンか  
ら心意を辿る(下)―「交差対句」  
を糸口として 大喜多紀明  
柏江市の生業覚書(1) 長沢 利明

◆戦国史研究  
戦国史研究会(発売:吉川弘文館)  
〒113-0033東京都文京区本郷7-2-8  
TEL03-3813-9151 1981年創刊

◇63 2012.2 A5 48p 667円  
戦国大名武田氏の先方衆統制  
一取次と縁戚の役割分担 深沢 修平  
「伊達氏包囲網」再考―天正16年  
の南奥羽の政治状況 吉村 雄多  
羅針盤  
九条植通の出奔と足利将軍 岩本 潤一  
「堺公方」足利義雄御内書につ  
いて 木下 昌規  
室町将軍足利義昭と徳川家康 柴 裕之  
戦国史関係論文目録(平成23年1月  
～6月)  
例会記録  
例会報告要旨  
谷口雄太／小川雄／小笠原春香  
佐藤雄太／森田真一／大貫茂紀

◆全日本郷土芸能協会会報  
〒107-0052東京都港区赤坂6-7-14 パーク

ハウス赤坂氷川102 TEL03-3583-8290  
年2000円 1995年創刊 www.jfpaa.jp  
◇66 2012.1 A4 24p  
川名のひよんどりとおくない  
静岡県浜松市  
年頭のご挨拶 中嶋 春洋  
平成24年度行事予定／全郷芸公益  
社団法人移行について  
東日本大震災―郷土芸能復興支援  
のプロジェクト事業 民俗芸能  
で広がる子供の世界 第14回全  
国こども民俗芸能大会・第9回  
伝統文化研修セミナー／祝 片  
桐登氏 地域文化功労者表彰／  
ユネスコ無形文化遺産保護条約  
「人類の無形文化遺産の代表一  
覧表」  
東日本大震災後の全郷芸と会員の  
動き 被災地郷土芸能の現在／  
支援活動 (小岩)  
東日本大震災後の全郷芸と会員の  
動き 東日本大震災―郷土芸能  
復興支援のプロジェクト 報告  
謹賀新年  
第14回全国獅子舞フェスティバ  
ル・白崎 開催報告／平成24年  
度開催予定「第15回全国獅子舞  
フェスティバル掛川」／第4回南  
信州獅子舞フェスティバル  
新年から春の芸能情報／祭暦 20  
12 1月～4月  
農村歌舞伎復活・再生から創造へ  
第21回全国地芝居サミット in  
成田／かながわ伝統芸能祭 地  
芝居2012／豊田市制60周年記念  
事業 民俗芸能大会 農村歌舞  
伎公演  
地芝居探訪(41) 藤野村歌舞伎／

小森歌舞伎／牧歌舞伎／小原歌舞伎／小鹿野歌舞伎／東濃歌舞伎保存会大会 松浦 鳥夫  
地芝居公演情報 1月～3月／祝内船歌舞伎県指定に  
地芝居見聞(6)  
おくにさん座一豊川に歌舞く 北河 直子  
地芝居あれこれ(5)  
地芝居人生80年 蒲池 卓巳  
松平流傍目八目(40) 東日本大震災で考えること(3) 松平 誠  
民俗楽器(42) ハワイのひょうたん打楽器 イブ(前) 山本 宏子  
誌上講座(66) 東日本大震災を海外から考察する 中坪 功雄  
会員紹介 東北芸術工科大学 東北文化研究センター 入間田宣夫  
会員情報／会員かわら版 「一関からこんぬづわ」(斉藤芳子)

◆**大道芸通信** 日本大道芸・大道芸の会  
〒157-0061東京都世田谷区北烏山2-3-9-101  
光田憲雄 TEL03-3307-2146  
www.k5.dion.ne.jp/~daidoge/  
◇**236** 2012.2 A4 2p 100円  
神田明神境内に鎮座する祇園牛頭天王三社(現三天王社)  
大締一代記(21) (原作)藤本甲南／(著作)光田憲雄  
◇**237** 2012.3 A4 2p 100円  
御免勸化  
大締一代記(22) (原作)藤本甲南／(著作)光田憲雄

◆**多摩地域史研究会会報**  
〒190-0011東京都立川市高松町1-16-2  
文化財COM内 TEL042-521-0186  
1991年創刊 tamatiken.web.fc2.com

◇**101** 2012.2 B5 12p  
第76回例会報告 多摩の中世城館を歩くⅣ 廣園寺・片倉城探訪  
(1)一長井氏の時代を歩く 馬場 喜信  
第76回例会報告 多摩の中世城館を歩くⅣ 廣園寺・片倉城探訪  
(2)一長井氏の時代を歩く 西股 総生  
廣園寺と片倉城 探訪 参加記 馬場 喜信  
新刊紹介  
岩田基嗣著『異説 多摩川上流水源地の歴史』 梶原 勝  
馬場喜信著『植田孟緡一雲は夢見る世に事なきをー』 外池 昇  
多摩地域史研究会 第77回例会  
大正初期敷設の送電施設を訪ねる一高圧送電線「谷村線」廃棄鉄塔  
◇**102** 2012.3 B5 14p  
第77回例会報告 八王子のふたつの御霊社一多摩における御霊信仰の始まりと終わり、あるいは近藤助実のこと 馬場 喜信  
地域史情報室 青梅市郷土博物館  
企画展 青梅の獅子舞／第8回稲城市ふるさと郷土芸能まつり／今後の例会予定  
多摩地域史研究会 第77回例会  
大正初期敷設の送電施設を訪ねる一高圧送電線「谷村線」廃棄鉄塔

◆**多摩のあゆみ** たましん地域文化財団  
〒186-8686東京都国立市中1-9-52  
TEL042-574-1360 年600円 1975年創刊  
www.tamashin.or.jp  
◇**145** 2012.2 A5 132p  
《特集 多摩の神職と僧侶》  
「新編武蔵国風土記稿」にみる多

摩の寺院 米崎 清美  
高尾山薬王院をめぐる宗教者群像 外山 徹  
近世武州御嶽山の神社と神職 靱矢 嘉史  
六所宮と府中三町 馬場 永子  
明治の神官の軌跡一青梅の近世文芸と神職齋藤眞指 齋藤 愼一  
多摩市一ノ宮小野神社神主太田家の近代 桜井 昭男  
洋風建築への誘い(34)  
五日市三内の里・小机宅 伊藤 龍也  
建物随想記(29) 多摩の擬洋風建築一小机家住宅 酒井 哲  
古文書は語る(32) 武州御嶽山の御師と檀那一馬場猛仲家文書  
「檀那売り渡し手形」より 馬場 憲一  
多摩の食文化誌(6) 食の情景(3) 多摩の主食・麦飯三題 増田 昭子  
多摩のみほとけ(8) 青梅市天寧寺 釈迦如来坐像及び十六羅漢像 齋藤 経生  
本の紹介  
東村山ふるさと歴史館発行『ひがしむらやま ぶんかざいめぐるっく』 當摩 彰子  
関東民具研究会編『相模・武蔵の大山信仰』 乾 賢太郎  
相模原市教育委員会編『相模原市史 現代通史編』 齋藤 勉  
まちの情報ハブ・図書館(8)  
あきる野市図書館 青木 佳三  
日の出町立図書館 山田咲貴子

◆**地方史研究**  
地方史研究協議会(発売:岩田書院)  
〒112-0002東京都文京区小石川3-10-5  
名著出版内 TEL03-3816-0739 年6600円  
1951年創刊 chihoshi.jp

◇**355** (62-1) 2012.2 A5 116p 1143円  
化政期における羽州幕領廻米と酒田湊一郡中惣代の「湊渡切」要求と実際 横山 昭男  
南方熊楠と和歌山城保存運動 雲藤 等  
2011年度(第62回)大会・総会報告  
第62回(庄内)大会参加記  
地方史研究協議会第62回(庄内)大会を聴講して 岩井 美樹  
庄内大会(第1日目・午後の部) 参看記 小田 直寿  
共通論題研究発表・午後の部に参加して 袖吉 正樹  
共通論題研究発表(午後の部)を聞いて 阿部 靖子  
秋雨の鶴岡をめぐる 吉岡 拓  
庄内巡見(酒田コース)を振り返って 長谷川幸一  
日本歴史学協会報告 佐藤 孝之  
歴史学と博物館のありかたを考える会8月例会「2008年に行われた博物館法の改正を考える」参加記 桑原 功一  
展示批評 北区飛鳥山博物館企画展「天明以来ノ大参事一明治43年水害と岩淵」を観て 吉田 優  
地方史の窓／新刊案内／各種委員会報告／事務局日より  
相馬中村城保存の要望書

◆**調布市郷土博物館だより**  
〒182-0026東京都調布市小島町3-26-2  
TEL042-481-7656 1978年創刊  
◇**72** 2009.3 A4 8p  
元気な声が響く「郷土学習展と体験学習」一学校教育との連携をめざして  
事業紹介 郷土学習展と体験学習

事業紹介 子どもはくぶつかん  
 エコミュージアムの推進構想事業  
 について  
 平成21年度の行事・催し物ご案内  
 開館35周年事業  
 平成19年度事業報告 展示活動／  
 教育普及活動／資料収集状況

◆調布の文化財 調布市郷土博物館  
 〒182-0026東京都調布市小島町3-26-2  
 TEL042-481-7656 1986年創刊

◇46 2012.1 A4 8p  
 「玉川文楽のうつしえ用具」の指  
 定解除  
 市内の郷土芸能  
 玉川文楽と写し絵 赤城 高志  
 文化財講演会抄録 石川和明氏  
 「史跡下布田遺跡から探る縄文  
 晩期人の生活」平成22年11月  
 14日(日) 高山 尚三  
 報告 第5回東京都文化財保存整  
 備区市町村協議会総会／第53回  
 調布市郷土芸能祭ばやし保存大  
 会／東京文化財ウィーク2010／  
 第57回文化財防火デー／第23回  
 多摩郷土誌フェア／平成22年度  
 調布市文化財保護審議会

◆東京産業考古学会 NEWS LETTER  
 〒173-0011東京都板橋区双葉町22-8-403  
 多田統一方／〒352-0011埼玉県新座市野火  
 止4-8-43 柚須紘一方 FAX03-3964-8548  
 tias3.web.fc2.com

◇93 2012.3 A4 4p  
 行事予定／関連団体情報（電気学  
 会広島大会）  
 報告 東京大学 大学発教育支援  
 コンソーシアム第4回シンポジ

ウムに参加して 多田 統一  
 報告 見学会 東京農工大学もの  
 づくり創造工学センター 多田 統一  
 新刊紹介 『日本の土木遺産』 平井 東幸  
 博物館シリーズ(5) 人類初の飛  
 行を目指した二宮忠八によるカ  
 ラス型1号機 小野田良智  
 2011年度 第9回理事会の議事概要  
 新刊紹介 『JEEJ』プロフェッショ  
 ナルによる理科支援事業実績と  
 理科実験事例集』 多田 統一  
 茨城県土浦市の赤煉瓦建築物(7)  
 その他の赤煉瓦造(2) 八木 司郎

◆東京大空襲・戦災資料センターニュース  
 〒136-0073東京都江東区北砂1-5-4  
 (財政治経済研究所 TEL03-5857-5631  
 2002年創刊 www.tokyo-sensai.net

◇20 2012.2 A4 10p  
 開館10周年で、新たな1歩へ 手  
 と手を結びさらに支援の輪を 早乙女勝元  
 東京大空襲を語り継ぐつどいー戦  
 災資料センター開館10周年／朗  
 読劇「死んでもプレストを」／  
 10周年記念特別展「東方社写真  
 部が記録した無差別爆撃」  
 戦災資料センターは開館10周年を  
 迎えました これまでの歩み、  
 そしてこれから  
 センターで空襲体験を語って 竹内 静代  
 資料センターアルバム  
 開館式から増築、現在へ  
 「東京大空襲・戦災資料センター」  
 維持・発展のためのお願い  
 山口孝／早乙女勝元  
 2011・夏の親子企画 みて！きい  
 て！つたえよう！東京大空襲 二瓶 治代  
 あしたへ生きる私たち

「感想ノート」から  
 ひとり音楽劇「猫は生きている」  
 を上演しました／証言映像作品  
 を館内で公開します  
 語り継ぐ 東日本大震災被災地  
 宮古市立津軽石中学校から／西  
 会津町立西会津中学校修学旅行  
 報告文集から  
 その町の戦跡  
 妙久寺の戦災殉難者供養碑 佐藤 洋子  
 東京大空襲訴訟控訴審が結審 憲  
 法に基づく公正な判決を！ 判  
 決は4月25日 高岡 岑郷  
 特別展開催に寄せて 東方社の研  
 究と特別展 約500点の新しい  
 空襲写真の発見 山辺 昌彦  
 センター主催シンポジウム「空襲  
 資料の活用と戦災デジタルマッ  
 プの世界」 青木 哲夫  
 戦争災害研究室の動向  
 語り継ぐ世代として  
 「感想ノート」から

◆練馬郷土史研究会会報  
 〒177-0041東京都練馬区石神井町2-28-31  
 吉越正博方 TEL03-3996-4454  
 1956年創刊

◇338 2012.3 A4 4p  
 「練馬」「のりぬま」地名を考える  
 葛城 明彦  
 豊島氏関係史料を読む(15) 戦国  
 期宮城氏の位置と太田氏(1) 伊藤 一美  
 東京市養育院と彼のひとびと(後  
 篇1)一児玉花外・島崎こま子・  
 長谷川利行・物集高量 日向康三郎

◆練馬区地名研究会会報  
 〒176-0014東京都練馬区豊玉南3-24-4

飯塚芳男方 TEL03-3992-0264  
 年2500円 1987年創刊

◇98 2012.2 B5 4p  
 所沢で地名類型を考える(1) 後藤 光  
 新刊紹介  
 練馬ふるさと辞典 東京堂出版  
 日本の地名を縄文語で解釈する 井上 政行

◆府中市郷土の森博物館紀要  
 〒183-0026東京都府中市南町6-32  
 TEL042-368-7921 1988年創刊  
 www.fuchu-cpf.or.jp/museum/  
 ◇25 2012.3 A4 111+50p  
 美濃国本田代官川崎平右衛門定孝  
 の民政 野田 政和  
 府中御殿一史料と考察 馬場 治子  
 ムダ堀に関する覚書 深澤 靖幸  
 芝間(府中市南町)の暮らしと年中  
 行事 芝間昔語りの会  
 西行説話と武蔵野・鎌倉街道 小野 一之  
 府中市域にみる安政五年・文久二  
 年のコレラ騒動 花木 知子  
 「サイノカミ」から「どんど焼き」  
 へー武蔵府中どんど焼き事情 佐藤 智敬

◆法政人類学 法政大学人類学研究会  
 〒186-0005東京都国立市西3-7-29  
 アゼリア国立Ⅱ101 長沢方

◇74 1998.3 B5 19p  
 群馬県下における「作物禁忌」に  
 ついて(上)ー里芋とゴマの禁作  
 を中心にして 井田 安雄

◇75 1998.6 B5 19p  
 鬼夜にみる大善寺の歴史(下) 深町明日葉  
 群馬県下における「作物禁忌」に  
 ついて(下)ー里芋とゴマの禁作  
 を中心にして 井田 安雄  
 「ものもらい(ホイト)」に関する

|                                      |               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |                                                                                                                                                                                                             |
|--------------------------------------|---------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 治療の方法と土地神—岡山県苦<br>田郡鏡野町真経・吉藤を中心に     | 三村 宣教         | ◇83 2000.6 B5 19p<br>宮古島のウタと生活(上) 友利 綾香<br>ゼミ通信No.91                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | ◆厚木市史たより<br>〒243-0018神奈川県厚木市中町3-17-17<br>厚木市教育委員会文化財保護課<br>TEL046-225-2060 2010年創刊                                                                                                                                                                                                                        | 編 鈴木 佐<br>余録 鎌倉乃記(7)—与謝野晶子<br>・寛、そして鎌倉(2) 昭和10<br>年(2) 坂本 俊雄                                                                                                                                                |
| 若狭大島ニソの杜とその周辺<br>怪談アンケート調査結果(上)      | 菊地 広<br>高橋 明子 | ◇84 2000.9 B5 19p<br>宮古島のウタと生活(下) 友利 綾香<br>アミ族の成年式<br>—1994年夏の記録(8) 長沢 利明<br>ゼミ通信No.92                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | ◇4 2012.1 A4 4p<br>大正14年厚木町役場庁舎再建 葉山美智代<br>事務報告に見る関東大震災 内藤 佳康<br>平成22年度市史歴史講演会参加記<br>永井 肇                                                                                                                                                                                                                 | 『亀谷山記録』(9) 鎌倉古文書研究会<br>『鹿山公私諸般留帳』(42) 三淵美恵子<br>神奈川の窓(29)<br>—「地方史研究」から 井上 隆男                                                                                                                                |
| ◇76 1998.9 B5 19p<br>怪談アンケート調査結果(中)  | 高橋 明子         | ◇85 2000.12 B5 19p<br>奥多摩町周辺に伝わる昔話につい<br>て 成田 直穂<br>アミ族の成年式<br>—1994年夏の記録(9) 長沢 利明<br>ゼミ通信No.93                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | ◆神奈川県立公文書館だより<br>〒241-0815横浜市旭区中尾1-6-1<br>TEL045-364-4456 1994年創刊<br>www.pref.kanagawa.jp/cnt/fl040/<br>◇27 2012.2 A4 4p<br>スタートします「神奈川デジタ<br>ルアーカイブ」—インターネット<br>で図書館の資料も<br>企画展「争論—裁許状にみる村の<br>争い—」 1月25日～3月25日<br>収蔵資料紹介 関東大震災で脱線<br>した貨物列車／Let's Try！こ<br>もんじょ 初級1 小塩家文書<br>「人別送り」から<br>活動中！被災公文書レスキュー | ◆京浜歴科研年報 京浜歴史科学研究会<br>〒233-0006横浜市港南区芹が谷5-59-12<br>大湖賢一方 TEL045-825-3736 1987年創刊<br>◇24 2012.2 B5 28p<br>巻頭言 歴史と災害 神谷 大介<br>文久二年の勅使待遇改善問題—三<br>條・姉小路勅使の東下と幕府の<br>対応 野村 晋作<br>下関砲撃事件と池田横浜鎖港施設<br>団について 塚越 俊志 |
| ◇77 1998.12 B5 19p<br>怪談アンケート調査結果(下) | 高橋 明子         | ◆明治維新史研究 明治維新史学会<br>〒154-8525東京都世田谷区駒沢1-23-1<br>駒澤大学第一研究館 文学部歴史学科<br>小泉雅弘研究室 2004年創刊<br>www.soc.nii.ac.jp/ishinshi/<br>◇8 2012.2 B5 62p<br>追悼文<br>田中彰先生の御逝去を悼む 松尾 正人<br>明治維新と社寺地処分 滝島 功<br>幕府政治変革と〈儒教的政治文化〉<br>朴 薫<br>書評 桐原健真著『吉田松陰の思<br>想と行動』 奈良 勝司<br>新刊紹介<br>鈴木壽子著『幕末譜代藩の政治<br>行動』 大庭 邦彦<br>田村貞雄編『「ええじゃないか」<br>の伝播』 桜井 昭男<br>刑部芳則著『洋服・散髪・脱刀<br>服制の明治維新』 清水恵美子<br>桐原邦夫著『士族授産と茨城の<br>開墾事業』 布施 賢治 | ◇27 2012.2 A4 4p<br>スタートします「神奈川デジタ<br>ルアーカイブ」—インターネット<br>で図書館の資料も<br>企画展「争論—裁許状にみる村の<br>争い—」 1月25日～3月25日<br>収蔵資料紹介 関東大震災で脱線<br>した貨物列車／Let's Try！こ<br>もんじょ 初級1 小塩家文書<br>「人別送り」から<br>活動中！被災公文書レスキュー                                                                                                         | ◆コロス 常民文化研究会<br>〒254-0016神奈川県平塚市東八幡2-8-20<br>西海賢二方 年1000円 1979年創刊<br>◇128 2012.2 B5 6p<br>民俗調査と戦争体験の語り 時枝 務<br>城下町の民俗的世界<br>—小田原の年中行事(17) 西海 賢二<br>島の巡り神輿 西海 賢二<br>受贈図書／研究会活動報告                             |
| ◇78 1999.3 B5 19p<br>性と笑い—「艶笑談」に潜むもの | 浦 和男          | ◇80 1999.9 B5 19p<br>『洛陽伽藍記』に見る楊街之の北<br>魏衰退史観 佐藤はづき<br>宮田登先生の思い出 長沢 利明<br>◇81 1999.12 B5 19p<br>群馬の猫伝承(上)<br>—民間伝承落穂拾い 井田 安雄<br>ゼミ通信No.90<br>◇82 2000.3 B5 19p<br>群馬の猫伝承(下)<br>—民間伝承落穂拾い 井田 安雄<br>アミ族の成年式<br>—1994年夏の記録(7) 長沢 利明                                                                                                                                                                  | ◆鎌倉 鎌倉文化研究会<br>〒248-0016神奈川県鎌倉市長谷3-11-2<br>長谷寺宝物館内 TEL0467-22-6300<br>1959年創刊<br>◇112 2012.1 A5 117p 1500円<br>南北朝・室町貴における禅僧の政<br>治的役割—月潭中円を中心に 石橋 一展<br>北条政村年譜 松尾 宣方<br>大仏隧道の沿革とその煉瓦につい<br>て 奥山 信治<br>旧建長寺末寺考(7)—広島県(安芸<br>国)・山口県(周防国・長門国)                                                                | ◆寒川町史研究 寒川文書館<br>〒253-0106神奈川県高座郡寒川町宮山135-<br>1 TEL0467-75-3691 1988年創刊<br>◇24 2012.3 A5 117p<br>《特集 相模線とその記録》<br>キハ35を追いかけて—写真家が記<br>録した相模線の気動車 則直 泰<br>商家からみた寒川駅前 宮代 鈴子                                   |



|                                                                                                          |                                     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 国鉄職員のみた寒川駅<br>相模線関連イベント<br>資料紹介 相模線の新聞記事<br>講演会記録<br>未来に伝えよう 公民館の記録<br>小学校の農業教育の試み<br>一清水善茂校長とその記録 藤石 良明 | 大久保嘉幸<br>高木 秀彰<br>武藤容子／鳥養圭美<br>高野 修 | 「玉縄城500年祭」市の実施計画に<br>市長、当会の要望書に回答<br>インタビュー―玉縄万華鏡 長屋<br>門で知られる小坂家 小坂勝代<br>さん／成果が現れてきた七曲坂<br>の美化法師活動<br>玉縄城の魅力と地域住民の智慧 伊藤 一美<br>歴史シリーズ(3)<br>玉縄城主 北条綱成<br>玉縄思い出写真館 大和橋・渡り<br>初め 昭和30年撮影<br>「玉縄城址まちづくり会議」の活<br>動／行事案内<br>◇4 2009.5 A4 4p<br>甦れ！玉縄城500年祭、七曲坂市<br>道整備へ、市予算／七曲坂自然<br>の学校開校<br>インタビュー―玉縄万華鏡 玉縄<br>城と共に500年 植谷戸の旧家<br>白崎弘さん／玉縄再発見 龍寶<br>寺山門が葺き替えられ昔日の輝<br>きを取り戻しました<br>昭和初期の大船駅周辺 山田 三郎<br>歴史シリーズ(4)<br>玉縄城主 北条氏繁<br>玉縄思い出写真館 上空より見た<br>植木 豊田富美子さんの兄君<br>昭和27年頃撮影<br>「玉縄城址まちづくり会議」の活<br>動／行事案内<br>◇5 2009.11 A4 4p<br>市民行政の協働だから進む<br>玉縄の素晴らしさ再発見事業<br>インタビュー―玉縄万華鏡 清泉<br>女学院(清心侍女修道会) シス<br>ター 坂本淑子さん<br>私の幼い頃の想い出 田中 八郎<br>歴史シリーズ(5) | 玉縄城主 北条氏舜<br>玉縄思い出写真館 上空より見た<br>岡本 三谷美智子さん提供 昭<br>和45年9月17日撮影<br>「玉縄城址まちづくり会議」の活<br>動／行事案内<br>◇6 2010.5 A4 4p<br>玉縄城を偲ぶ広場をつくる 玉縄<br>自町連と協力 市長要望書を提<br>出／玉縄城大手門模型完成<br>インタビュー―玉縄万華鏡 七十<br>年前の城宿の旧家の話 石原琴<br>子さん・豊田富美子さん<br>七十年前の玉縄地域 大嶋 文夫<br>歴史シリーズ(6)<br>玉縄城主 北条氏勝<br>玉縄思い出写真館 大船観音の昔<br>のお姿 提供：豊田富美子さん<br>昭和20年代撮影<br>「玉縄城址まちづくり会議」の活<br>動／行事案内<br>◇7 2010.11 A4 4p<br>玉縄ふるさと館オープンへ<br>重文 石井家住宅も市民が活用<br>インタビュー―玉縄万華鏡 「旧<br>石井家住宅」(龍寶寺境内)にお<br>住まいだった石井廣志さん<br>玉縄城址がある 三木 卓<br>歴史シリーズ(7)<br>玉縄城主 北条氏勝<br>玉縄思い出写真館 昭和10年の玉<br>縄小学校の卒業生 玉縄3丁目<br>塩田林之助さん<br>「玉縄城址まちづくり会議」の活<br>動／行事案内／七曲坂の野草<br>「野アザミ」<br>◇8 2011.5 A4 4p<br>まちづくり5年目の春 | 玉縄城を偲ぶコース 整備進む<br>インタビュー―玉縄万華鏡 玉縄<br>城明け渡しの際の「秀吉の朱印<br>状」拝見 北條和子さん<br>玉縄ふるさと館探訪ノートから／<br>氏勝公没後四百年恩忌<br>『戦国鎌倉悲譚 剋』 伊東 潤<br>歴史シリーズ(8)<br>玉縄城主 北条氏勝<br>玉縄思い出写真館 龍寶寺本堂上<br>棟式 昭和32年(1958年)12月撮<br>影<br>「玉縄城址まちづくり会議」の活<br>動／行事案内／七曲坂の野草<br>(2)「キランソウ」<br>◇9 2011.11 A4 4p<br>古都鎌倉を支えた玉縄北条<br>北条五代シンポジウムに参加<br>インタビュー―玉縄万華鏡 鎌倉<br>市景観重要建築物 平井家住<br>宅・長屋門の歴史 平井潔さん<br>玉縄城築城500年祭のみどころ<br>その1―玉縄城を偲ぶコース<br>玉縄城三代の菩提寺「龍寶寺」<br>／七曲坂の野草(3)「曼珠沙華」<br>昭和五十年代の玉縄 糸 岩男<br>歴史シリーズ(9)<br>玉縄城主 北条氏勝<br>玉縄思い出写真館 おんまやさん<br>でお正月の餅つき 豊田富美子<br>さん<br>「玉縄城址まちづくり会議」の活<br>動／行事案内<br>◆藤沢市文書館紀要<br>〒251-0054神奈川県藤沢市朝日町12-6<br>TEL0466-24-0171 1975年創刊<br>◇32 2010.3 A5 90+33p |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

『藤沢山日鑑』と『近侍者日鑑』 酒井 麻子  
『藤沢山日鑑』記事年表（文政4年  
～文政7年） 酒井 麻子  
『吾妻鏡』における大庭氏および  
渋谷氏の関連記事について 伊井 一弘  
文書館日誌(2008)  
藤沢市史年表稿(平成19年) 山田 之恵

#### ◆民具マンスリー

神奈川大学日本常民文化研究所  
〒221-0802横浜市神奈川区六角橋3-27-1  
TEL045-481-5661 年3500円  
◇527 (44-11) 2012.2 A5 24p 350円  
オシラサマとオコナイサマ  
一岩手県の場合 工藤 紘一  
アチック・ミュージアムの民具コ  
レクション(31)「八勝館」の枕  
近藤 雅樹  
書籍紹介 まるはと叢書第十集  
『青年詩集 工都川口日誌抄』 宇田 哲雄  
◇528 (44-12) 2012.3 A5 24p 350円  
「山城國乙訓郡農具器械書」につ  
いて 桂 眞幸  
愛媛県内での民具整理の実践報告  
広実 敏彦  
第44巻総目次  
日本常民文化研究所 2011年度活  
動報告より

### 中 部

#### ◆鑑 賞 新潟文化財鑑賞会

〒950-0852新潟市東区石山3-12-19  
斎藤寿一郎方 TEL025-286-1740  
◇33 2012.2 A5 100p  
南北朝・室町時代の佐渡と京都 田中 聡  
佐渡金銀山一近代鉱山への転換 余湖 明彦  
日本人開拓民殉難慰霊碑の建立と  
撤去一事件の新聞報道から過去

と現在を顧みる 高橋 健男  
万葉の痕跡を求めて一佐渡小旅行  
高杉 政子  
はるかなる鳥旅  
一利尻・礼文の島々へ 野本 健一  
新潟県は本当に浄土真宗王国か一  
新潟県における浄土真宗寺院分  
布について 渡辺 博  
第44回越佐地方史談話会の報告  
平成23年文化財鑑賞研修旅行につ  
いて 福井県の文化財めぐり 小山 正春  
平成23年文化財鑑賞研修旅行につ  
いて 阿賀町の文化財を訪ねて  
藤井 保男  
事務局だより  
シンボルマーク解説 小塚 信

#### ◆郷土史編さん誌 みなみうおめま

南魚沼市教育委員会  
〒949-6680新潟県南魚沼市六日町456-1  
社会教育課郷土史編さん係  
TEL025-773-2197  
◇9 2012.3 A5 107p  
口絵写真  
大正・昭和初期の六日町  
ごあいさつ 南雲 権治  
特 集  
六日町の今成家写真  
写真に響く歓声を聞く 榎本千賀子  
今成家写真展によせて 今成 尚志  
ふるさと通信  
秋艸道人が愛した漬物 遠藤 利和  
女の子の遊び  
一戦中、戦後間もない頃 遠藤 利和  
「盆踊り唄」余話 今成 卓而  
史跡等を易しく紹介した大和の  
歴史かるた 中島 正樹  
入会権(姥沢山)について 角谷 一司

「西部開田」余話 今成 卓而  
懐かしい六高時代 前沢 吉雄  
仲町の裏側の人家について 遠藤 利和  
岡部東雲の詩に見る六日町大火  
今成 卓而  
樺沢城跡保存活動と豪雨災害  
樺沢城跡保存会  
幻の二百年 城氏叛乱事件 大嶋 要三  
江戸時代の子ども  
一六日町地域を例に 本田 雄二  
十五年戦争と六日町青年  
一今正兄弟とその周辺 芳井 研一  
南魚沼市郷土史編さん日誌(抄)  
郷土史編さん室

#### ◆良寛だより 全国良寛会会報

〒951-8112新潟市中央区南浜通2 北方文  
化博物館新潟分館内 TEL025-222-2262  
1978年創刊  
◇135 2012.1 A4 20p  
良寛遺墨解説(93)「圓通寺」 加藤 信一  
良寛尊像つれづれ(97)「読書良  
寛」 燕市・個人蔵 茂木弘次作  
涌井 茂  
折々の良寛(24)「ふるまち 良  
寛てまり庵」の開庵 長谷川義明  
全国良寛会秋季役員会 報告  
平成24年度(第35回)全国良寛会岩  
室大会「予告」/「全国良寛会岩  
室大会」見学地ご案内  
良寛さんと座りましょう  
円通寺にて暁天座禅会 岡山県良寛会  
良寛の楷書は、中国楷書の基準を  
超えている(1)一その美は、「1/  
f ゆらぎ」から生まれている 長谷川洋三  
良寛 丈夫賛歌 素描(1) 吉田 福恵  
全国良寛会の歩み(4)最終回  
一胎動からその展開を辿る 齋藤 信夫

今良寛 橋爪良恒先生を偲びて 市川 忠夫  
奈良良寛会と良寛さんへの思い 松本 菖陽  
文部科学大臣の表彰を受けて 加藤 信一  
良寛展 熱海からアメリカへ 皆川喜代弘  
トビックス／新刊案内 『週めく  
り 良寛さんカレンダー2012  
年』、『写真詩集・希望の木』/  
会報・会誌の紹介

#### ◆とやま民俗 富山民俗の会

〒930-0881富山県富山市安養坊56甲-1  
富山市民俗資料館内  
年3000円 1974年創刊  
◇77 2012.1 A5 27p  
中世と近世が混在する放生津築山  
松山 充宏  
利賀村奥大勘場民俗点描(6)一バ  
ンドリ(ムササビ)狐、ユキゾリ  
(雪橇)、播種伝承、有毒植物の  
ことなど 森 俊  
ケヤキの良木育成と用材になるま  
で一小矢部川上流域刀利谷・臼  
中を中心に 加藤 享子  
民俗の窓・会務報告・文献紹介・  
受贈図書

#### ◆若越郷土研究 福井県郷土誌懇談会

〒918-8113福井市下馬町51-11  
福井県立図書館内 TEL0776-33-8860  
年3500円 1956年創刊  
◇293 (56-2) 2012.2 B5 58p  
新出の文政13年「福井城御図」と  
「福井城図」(文政2年写)につい  
て 国京 克巳  
一乗谷と氷室に関する戦国時代の  
文献 佐藤 圭  
グリフィス福井日記・書簡に見る  
廃藩について 山下 英一

松旭齋天一と福井藩陪臣牧野家  
一再読『松旭齋天一の生涯』 長野 栄俊  
書評 印牧邦雄著『穴馬村小史』  
『和泉の自然と歴史』 岩井 孝樹  
懇談会通信

◆石川れきはく 石川県立歴史博物館  
〒920-0963石川県金沢市出羽町3-1  
TEL076-262-3236 1986年創刊  
www.pref.ishikawa.jp/muse/rekihaku/

◇102 2012.2 A4 6p  
企画展「れきはくコレクション  
2011」  
企画展「れきはくコレクション  
2011」開催によせて  
貸出中の館藏品／主な刊行物のご  
案内／催事日録／平成24年度れ  
きはくメイト 会員募集!!  
れきはくトリヴィア  
ナギカエシの祭壇

◆北陸の民俗 北陸三県民俗の会年会記録  
福井民俗の会・加能民俗の会・富山民俗の会  
〒910-0016福井市大宮2-19-15 福井県立歴  
史博物館 TEL0776-22-4675 1983年創刊

◇23 2011.8 B5 31+7p  
《第30回 北陸三県民俗の会年会記録 2005》  
共通論題基調講演 町づくりの祭  
一伝統と新しい試み 橋本 裕之  
〈共通課題一町づくりの祭〉  
若狭おおいのスーパー大火勢 古池 久  
金沢市祭・尾山まつりと比較して  
の小松商工祭・としつね祭 由谷 裕哉  
城端むぎや祭を見直す 奥野 達夫  
シンポジウム 町づくりの祭一伝  
統と新しい試み  
北陸三県の民俗研究動向 福井県  
の民俗研究動向／石川県の民俗

研究動向／富山県の民俗研究動  
向  
◇26 2011.8 B5 42+6p  
《第33回 北陸三県民俗の会年会記録 2008》  
自由課題

刀根の祭りの構造と変化 高早 恵美  
尾山神社所蔵『淡吹の面(悪尉  
面)』の由来をめぐって一能登  
の漂着面伝承 藤島 秀隆  
狐の民俗あれこれ一特に火との  
関わりを中心に 森 俊  
共通課題基調講演  
民俗的な稲荷信仰の諸相 大森 恵子  
〈共通課題一北陸の稲荷信仰〉  
若狭美浜町の稲荷信仰 金田 久璋  
「あえのこと」「屋敷神」のお稲荷  
様 西山 郷史  
神通川流域の稲荷信仰一石像・木  
像・屋敷神と神社の祭神 平井 一雄  
シンポジウム 北陸の稲荷信仰  
北陸三県の民俗研究動向 福井県  
の民俗研究動向／石川県の民俗  
研究動向／富山県の民俗研究動  
向

◆MARUBI  
富士吉田市歴史民俗博物館だより  
〒403-0005山梨県富士吉田市上吉田2288-1  
TEL0555-24-2411 www.fy-museum.jp  
◇37 2011.10 A4 8p  
富士山あれこれ 山頂の鐘(前) 奥脇 和男  
博物館Report  
身禄堂の由来と変遷(後)一田辺  
家の御神前から山元講の身禄  
堂へ 篠原 武  
富士山御師外川家に泊まった人  
々(中)一『富士の道の記』の  
紹介 菊池 邦彦

◇38 2012.3 A4 8p  
博物館Report 富士山御師外川  
家に泊まった人々(後-1)一『富  
士の道の記』の紹介 菊池 邦彦  
富士山あれこれ 山頂の鐘(後) 奥脇 和男

◆飯田市歴史研ニュース 飯田市歴史研究所  
〒395-0002長野県飯田市上郷飯沼3145  
TEL0265-53-4670 www.city.iida.lg.jp  
◇56 2012.2 A4 4p  
飯田・下伊那の農村舞台  
出版物紹介 飯田・下伊那地域史  
料現状記録調査報告書2 松川  
町生田部奈 部奈一朗氏所蔵文  
書／2011年度飯田歴史研賞受賞  
論文賞「農地改革期の耕作権移  
動」青木健さん／飯田アカデミ  
ア 第65講座の開催予定  
『飯田・上飯田の歴史』(仮題)刊  
行事業より 下巻 近代～現代  
挫折した、飯田への蚕糸専門学  
校誘致構想 田中 雅孝  
地域史講座／定例研究会／研究助  
成報告会を開催します／平成24  
年4月開講 古代史ゼミのご案内  
／歴史ゼミ／歴史日誌

◆伊那 伊那史学会  
〒395-0081長野県飯田市宮ノ上4048  
TEL0265-22-6017 年5500円  
◇1005 (60-2) 2012.2 A5 50p 500円  
口絵 旧谷川橋脚台(遺稿) 今村 善興  
山吹に歌の指導に入った 平安の  
歌僧・澄月 林 登美人  
大澤國彌宛桃澤茂春の書翰 桃澤 匡行  
大正初期の農村青年の思想と行動  
(下)一『嶋岡幸一日記』より 清水 迪夫  
中世、橋北城の幻影を追う(8) 稲井 遙

飯田藩士・嶋地七三郎が戊辰戦争  
に用いたスタール騎銃 原田 望  
各町村史学会の動き 第450回郷  
土巡礼 上久堅・下久堅の歴史  
と地名を訪ねて  
◇1006 (60-3) 2012.3 A5 50p 500円  
口絵 京都伊勢屋池村久兵衛の白  
山社奥社奉納額 山内 尚巳  
絶頂期の多勢子の一側面一松尾多  
勢子京都からの書状より 手塚 勝昭  
国学門人の明治(1) 第一～第四  
回衆議院選挙を中心に 竹村 雄次  
「大杉」の命は絶たれた  
一昭和19年1月 大原千和喜  
竜ノ口渡船と万年橋 林 登美人  
中世、橋北城の幻影を追う(9) 稲井 遙  
消えていくことばの文化(18)  
『物類稱呼』と『下伊那郡方言  
集』(2) 井上 伸児

◆伊那路 上伊那郷土研究会  
〒396-0021長野県伊那市小沢7799-2  
TEL0265-78-6719 年5000円  
◇661 (56-2) 2012.2 A5 40p 500円  
《「上伊那郷土研究交流の集い」特集号》  
「美簗の歌」による公民館活動 赤羽 仁  
蟻塚城の復活一蟻塚城跡平成21・  
22年度整備事業経過報告 桜井 裕記  
一番井を中心にした美簗の発展を  
考える 矢島 信之  
「第12回上伊那郷土研究交流の集  
い」報告 氣賀澤厚典  
美簗小学校郷土資料館の思い出か  
ら 堀内 敏文  
「交流の集い」に参加して 北条久美子  
「郷土研究交流の集い」に参加して  
新井 幸徳  
伊那谷のホオジロ類

一民俗の窓を通して(15) 吉田 保晴  
上伊那の蝶(6) 中村 寛志  
ミヤマシロチョウ  
文化短信 上伊那ハーモニカ愛好  
者の集い演奏会 山本 勝  
古文書の窓(104) 河野 景  
博奕制禁連判帳前書  
師匠の背中(2)より(40) 若林 徹男  
橋遊び(滑り台)  
◇662 (56-3) 2012.3 A5 40p 500円  
伊那の犬房丸とそれを伝えた人々  
(1) 唐木 聡  
田山花袋来伊と、小豆坂などへの  
思い 小林 勝幸  
農家の一年 寛政12年「歳内日記  
覚」を読む(4) 三浦 孝美  
思い出の人・思い出の事(9) 桃澤 匡行  
宮下操先生(郷土史家)  
武田家最後の高遠城主 仁科五郎  
の謎ー県歌「信濃の国」に歌わ  
れた「信盛」は間違いか 福澤 文雄  
美篤笠原山梨の薬師如来坐像につ  
いて(1) 上柳優二郎  
上伊那の蝶(7) 中村 寛志  
メスアカミドリシジミ  
考古あれこれ(15) 赤羽 義洋  
縄文土器を解き放つ  
師匠の背中(2)より(41) 若林 徹男  
雪かき(除雪)

◆伊那民俗  
柳田国男記念伊那民俗学研究所  
〒395-0034長野県飯田市追手町2-655  
飯田市美術博物館内 TEL0265-22-8118  
年3000円 1990年創刊  
◇88 2012.3 B5 8p  
内職の技術／高級結納品セットの  
製造

水引業を支えた内職ー飯田・上飯  
田の民俗調査から 服部比呂美  
柳田国男の『信州随筆』フィール  
ドワーク 巫女の墓・甲賀三郎  
伝説・小泉小太郎伝説の地を訪  
ねて 北原いずみ  
雛の節句いろいろ 片桐みどり  
忘れ去られた民具(1) 松上 清志  
「サネクリ」ー綿繰器  
研究所部会活動案内

◆市誌研究ながの 長野市公文書館  
〒380-0801長野市箱清水1-3-8  
長野市城山分室内 総務部庶務課  
TEL026-232-8050 1994年創刊  
◇19 2012.3 A4 170p  
はじめに 鷺澤 正一  
長野市公文書館 開館四周年記念  
講演 善光寺地震に学ぶー震災  
の特徴と発生メカニズム 赤羽 貞幸  
郷土長池が生んだ高僧規菴祖円  
(南院国師)と南禅寺 高木 寛  
古文書にみる野生鳥獣  
一松代領を中心に 大橋 昌人  
佐久間象山の漢詩(4) 佐久間方三  
弘化四年三月廿五日より五月五日  
至「御役用日記」の紹介(3)  
一善光寺西町宮下銀兵衛「御役  
用日記」 長野西高校古文書同好会  
通称「坊主学校」盛衰記  
一焼けた坊主学校の謎解き 袖山 榮眞  
忠魂碑の歴史をみるー創建・撤去  
・再建をめぐって 小林 康男  
旧制長野中学校本館校舎に関する  
基礎的建築史研究(1)一本館校  
舎移転改築に関わる経過と建築  
様式名 宮澤 政太  
松代ボーリングコアデータの共有

と活用に向けた保存について  
伊藤拓馬／宮澤崇士  
長野市西部地区の池沼と湧泉の水  
質とプランクトン(1) 落合 照雄  
『市誌研究ながの』投稿規定／長  
野市公文書館のあゆみ  
表紙解説「松代天王祭絵巻」 山中さゆり  
口絵解説  
親鸞と善光寺・康楽寺 高木 寛  
長野に存在した浄土宗第三教区  
宗学教校 袖山 榮眞  
篠ノ井駅周辺の変貌(明治前期  
～平成) 滝澤 公男  
信州新町竹房地区の百八灯行事  
(平成23年8月15日) 細井雄次郎

◆信濃 信濃史学会  
〒390-0805長野県松本市清水1-9-607  
TEL0263-36-1785 年8400円  
www.shinano-shigakukai.com  
◇745 (64-2) 2012.2 A5 80p 900円  
義民をめぐる地域社会の相克ー安  
政六年信州南山一揆の歴史的位  
置 林 進一郎  
備荒貯蓄制度進展の基礎的研究  
(上)ー松本藩とその預領を事例  
として 田中 薫  
真田信之と保科正之の接点 鈴木 景二  
信州安曇野 沿革の軌跡 伝承地名  
攷(中)ー安曇野の沿革 神宮御  
厨の設定 神明社の奉斎 草間 美登  
史料紹介 藤本蚕業合名(株式)会  
社の蚕種製造の変化について 新津 新生  
◇746 (64-3) 2012.3 A5 84p 900円  
戦国大名武田氏の田役と段銭 鈴木 将典  
ヤマト政権統治開始の証明ー大岩  
山銅鐸遺跡の復元と解説 柳沢 賢次  
荒貯蓄制度進展の基礎的研究(下)

一松本藩とその預領を事例とし  
て 田中 薫  
信州安曇野 沿革の軌跡 伝承地名  
攷(下)ー安曇野の沿革 聚楽の  
合併 鎮守の奉斎 草間 美登  
信濃史学会秋季例会ー講演「灯火  
風流」と研究協議「災害から歴  
史資料や民俗文化財をどう守る  
か」 山浦 寿  
書籍紹介 中条唯七郎著 中村美  
美子訳 青木美智男校註「善光  
寺大地震を生き抜くー現代語訳  
『弘化四年・善光寺地震大変録』  
ー」 小野 和英

◆千曲 ふるさとに学ぶ 東信史学会  
〒386-0024長野県上田市大手2-7-13  
上小教育会館内 TEL0268-24-2182  
年3000円 1974年創刊  
◇149 2012.2 A5 70p  
安政6年、上田藩の生糸輸出(2) 阿部 勇  
近世旅人の所持品についてー上田  
城下町に見る行き倒れ人と病死  
人 小山ますみ  
女人救済の仏ー立山芦峯の姥尊  
(オンバ様)について 滝澤 純子  
年齢計算法と西暦対称早見表の作  
成 丸山 晴久  
蘇民将来符の形体と性質に関する  
一考察 宮寄 和洋  
連載講座  
古文書解説講座 第142回 宮原 英夫  
地区だより(更埴地区)  
写真と解説 太刀 長野県宝  
上田市立博物館蔵 林 和男

◆長野 長野郷土史研究会  
〒380-0905長野市七瀬南部14-7



TEL026-224-2673 年4000円 1964年創刊  
[www.janis.or.jp/users/kyodoshi/](http://www.janis.or.jp/users/kyodoshi/)  
 ◇281 2012.2 A5 48p 500円  
 口絵 奉納された武井神社の御柱  
 行列大絵馬  
 現代語訳「横田川原いくさ軍(上)」  
 『源平盛衰記』巻二十七巻より 小林 一郎  
 麻の生産をささえた建築と信州の  
 山村景観 梅干野成央  
 古道を訪ねてーキツネに化かされ  
 た長野運動公園付近の迷い道 池田 忠保  
 未来に伝える震災の体験  
 東京、あの日の出来事 小林 雄次  
 長野から岩手県遠野の震災ボラ  
 ンティア活動に参加して(中)  
 井原羽八夏  
 小林計一郎の原点(10)  
 渡辺敏生先生伝(8) 小林計一郎  
 講談「真田三代記」(32) 小林 一郎  
 問御所で暮らし始めて 小林竜太郎  
 善光寺西部(狐池・西長野)史蹟め  
 ぐり資料 「江戸東京善光寺参  
 り」に参加して 倉石 方正

◆長野県民俗の会通信  
 〒399-7104長野県安曇野市明科七貴6535-5  
 巻山圭一方 TEL0263-62-6535  
 年5000円 [www.k2.dion.ne.jp/~folklore/](http://www.k2.dion.ne.jp/~folklore/)  
 ◇228 2012.3 B5 8p  
 これからの民俗学 福澤 昭司  
 念来寺の起源  
 ー史実と伝承のはざままで 木下 守  
 葉書でつぶやくコーナー  
 「松本へ行く」 直井 雅尚  
 第180回例会のご案内

◆松本市史研究 松本市文書館紀要  
 松本市総務部行政管理課松本市文書館

〒390-1242長野県松本市和田1058-2  
 TEL026-347-0040 1991年創刊  
 ◇22 2012.3 B5 150p  
 刊行にあたって 菅谷 昭  
 市史研究  
 新松本市域の人口の特性(4)ー  
 松本市波田地区の人口の動向  
 藤森 喜雄  
 江戸時代の凶作・飢饉の生活史  
 ー広域松本領の地域像(2) 田中 薫  
 牛伏寺縁起についての考察ー各  
 地の類例と修験道との関係 浜野 安則  
 資料紹介 天保新選、賤家道行上  
 手下手 北部古文書の会  
 資料紹介 竹淵村の近世文書 竹淵 正晃  
 平成23年度松本市文書館の事業

◆月刊通信ふるさとの民俗を語る会  
 民俗文化研究所  
 〒438-0086静岡県磐田市見付3532  
 TEL0538-32-3546 2007年創刊  
[www4.tokai.or.jp/child-c/j/](http://www4.tokai.or.jp/child-c/j/)  
 ◇57 2012.2 A4 4p  
 長い道のりはまだ散歩 小長谷建夫  
 ◇58 2012.3 A4 4p  
 西浦田楽ー記念の平成24年 吉川 祐子

◆静岡県近代史研究会会報  
 〒432-8011浜松市中区城北3-5-1 静岡大学  
 情報学部 荒川章二研究室内 年4000円  
 ◇401 2012.2 B5 4p 200円  
 2月例会レジュメ 明治期の清水  
 における茶園経営と茶輸出ー庵  
 原郡嶺村澤野家の動向を中心に  
 岡村 龍男  
 明治維新史談会のこと 田口 英爾  
 図書紹介 『季刊考古学』特集  
 戦争と慰霊の考古学(第116号・

雄山閣・2011年8月1日) 村瀬 隆彦  
 調査途中経過報告  
 「畑藤十」資料について 清水 実  
 ◇402 2012.3 B5 4p 200円  
 3月例会レジュメⅠ 1950年代「混  
 血児問題」の論理とその展開 西 弘乃  
 3月例会レジュメⅡ 戦時メデ  
 アに見る特攻隊表象 牧 竜平  
 定例幹事会報告

◆静岡県民俗学会会報  
 〒424-0053静岡市清水区渋川1-9-6-101  
[homepage3.nifty.com/s-folklore/](http://homepage3.nifty.com/s-folklore/)  
 ◇142 2012.1 A4 4p  
 2012年 年頭のご挨拶 大嶋 善孝  
 第5回卒業論文発表会・相談会  
 第1回例会 伊豆の国市の三番叟  
 見学会報告 松田香代子  
 シリーズ食(19)  
 静浦のサバ料理 外立ますみ  
 静岡の民俗語彙・方言短信  
 オッコウジン 大嶋 善孝  
 チョウチョウしい 外立ますみ  
 ドンジリ 外立ますみ  
 博物館情報／受贈資料・刊行物紹  
 介

◆静岡歴研会報 静岡県歴史研究会  
 〒422-8045静岡市駿河区西島363-55  
 篠原旭方 TEL054-286-8659  
 ◇133 2012.3 B5 12p  
 12月4日(日) 第94回研究会 川  
 勝高士氏の「明治の元勲、侯爵  
 井上馨の逸話」の概要／田中春  
 二氏の「浜松からの通俗事情」  
 (天正七年の悲劇)の概要／松葉  
 屋幸則氏の「平清盛、藤原家成  
 そして実相寺」の概要

2月5日(日) 第95回研究会 寺尾  
 弘之氏の「熊谷直実について」  
 の概要／大川誠一氏の「『卑弥  
 呼』という名の秘密」の概要／  
 鶴藤満夫氏の「御領林と水見色  
 村農民のかかわり」の概要  
 地震に関する資料の提出／前号に  
 おける記事の訂正  
 近江八話(8) 匂住庵の記 鈴木 康弘

◆愛知県史研究  
 愛知県総務部法務文書課県史編さん室  
 〒460-0002名古屋市中区丸の内3-4-13  
 愛知県庁大津橋分室 TEL052-972-9171  
 1996年創刊 [www.pref.aichi.jp/kenshi/](http://www.pref.aichi.jp/kenshi/)  
 ◇16 2012.3 A4 188p  
 口絵 無題図(明治十一年伊勢湾  
 図)・明治十一年熱田港川口之  
 図  
 鎌倉末期の熱田大宮司職をめぐっ  
 て 松島 周一  
 明治大正期名古屋地区における電  
 灯需要の構造と展開ー照明革命  
 はいかにもたらされたか 浅野 伸一  
 研究ノート  
 中世常滑窯における焼成器種と  
 その形態的分類について 青木 修  
 近世における花押使用の実態に  
 ついてー田原藩主三宅康雄の  
 事例をもとに 平野 仁也  
 三菱汽船伊勢湾航路開設過程の  
 研究 森 靖雄  
 史料紹介  
 天正十八年三河国太閤検地帳に  
 ついてー加茂郡四ツ松村検地  
 帳の紹介を兼ねて 谷口 央  
 「関白殿物語」上 播磨 良紀  
 調査報告

蔵平出土銭の銭貨 鈴木 正貴  
 名古屋油商吉田家の資料について 曲田 浩和  
 特別企画 インタビュー 研究生  
 活五十年、尾張藩法と名古屋商人史と一林董一さんに聞く 近世史部会  
 愛知県史を語る会抄録  
 地形・地質から愛知の過去を探るー愛知県ぐるり仮想ハイキング 鬼頭 剛  
 愛知の多様でユニークな動物たち 矢部 隆  
 近刊市町村史誌紹介 『尾張旭市誌 現代史編』、『新編 豊川市史』第一巻「通史編 原始・古代・中世」、『新編 豊川市史』第二巻「通史編 近世」、『新修名古屋市史』資料編 近世3、『幡豆町史 本文編1 原始・古代・中世』、新編三好町誌民俗調査報告書『みよしの民俗』  
 各部会の活動状況

◆あつた 熱田神宮官庁  
 〒456-8585名古屋市中熱田区神宮1-1-1  
 TEL052-671-4151 www.atsutajingu.or.jp  
 ◇233 2012.1 A5 25p  
 年頭のご挨拶 小串 和夫  
 熱田社の和歌と文学(34)ー土御門治部卿安倍泰邦『東行説話』の場合 八木意知男  
 芭蕉と熱田神宮 辻村 全弘  
 お知らせ／社頭だより／日誌抄式内社顕彰会東海支部巡拝会の思い出ー説明員として参加して 野村 辰美

◆郷土文化 名古屋郷土文化会  
 〒466-0064名古屋市中昭和区鶴舞1-1-155

名古屋市鶴舞中央図書館 TEL052-741-9822  
 年3000円 1946年創刊  
 ◇216 (66-2) 2012.2 A5 89p 1500円  
 熱田加藤氏と臨済宗妙心寺派の発展(4) 乾徳寺・堀尾金助 横山 住雄  
 愛知県古井村「松軒屋敷」について 小林 元  
 尾張大宝院の修験 横井金谷法印の足跡について 石黒 健二  
 春日井市と名古屋市守山区等の狂俳文芸(4) 大野 哲夫  
 愛知郡高田村の変遷 尾鍋 昭彦  
 図絵に見る尾張の街道風景(9) 櫻井 芳昭  
 名古屋城本丸御殿復元 上棟記念式典 棟札について 仙石 聖子  
 資料紹介『朝林拔萃』(名古屋市蓬左文庫所蔵本) 吉川 將  
 会員著作紹介 櫻井芳昭氏『奥』 津田 豊彦  
 名古屋郷土文化会 見学研究会  
 「中山道の宿場町奈良井と福沢桃介ゆかりの地を訪ねて」 松藤 耕造

◆新修名古屋市史だより  
 新修名古屋市史編さん事務局  
 〒461-0011名古屋市中東区白壁1-3  
 名古屋市政資料館 TEL052-953-0051  
 1992年創刊  
 ◇30 2012.3 A4 16p  
 〈第27回「新修名古屋市史を語る集い」から資料編「近代3」の内容を紹介〉  
 資料編「近代3」の構成と関連資料について 笠井 雅直  
 時局事務監査準備書類に見る名古屋市の防空体制ー戦時名古屋の軍需工業都市化の深まりとの関連で 池山 弘  
 戦前の名古屋駅前整備と交通結節点としての役割 松永 直幸

『新修 名古屋市史』資料編(8巻)・本文編(全10巻)発売中  
 公文書等の公開について(市政資料館の閲覧室で閲覧・複写していただけます)／表紙の説明  
 名古屋市東山動物園鳥瞰図 昭和12年、名古屋市立舞鶴公園付属動物園  
 資料編「現代」刊行にあたって 松尾 博雄  
 資料編「現代」刊行のお知らせ／資料編「現代」目次

◆文化誌 碧 碧の会  
 〒446-0013愛知県安城市東別所町戌新畑1-53 河村方 TEL0566-76-0204  
 2001年復刊  
 ◇30 2012.1 B5 34p 500円  
 特集 碧と歩んだ十年  
 『碧』とともに歩んだ十年間 米川 五郎  
 『碧』とともに歩んだ十年 八重田和久  
 地方のミニ文化誌の歩みその1 河村 和男  
 石版画 冬の球根 松谷 慶子  
 詩作品  
 弟の俺には「故郷」は歌えない 八重田和久  
 血は濃くしてはならない 砂村 洋  
 共和国は薔薇の地下水道 砂村 洋  
 民俗・食文化 蛤料理について 粕渕 宏昭  
 エッセー  
 3・11以後 放射能汚染から日本の再生 小谷野錦子  
 国の形・一つの見方 八重田和久  
 秋の祈り 久世 郁子

◆まつり通信 まつり同好会  
 〒496-8049愛知県愛西市塩田町砂山25  
 TEL0567-37-0441 年5000円  
 ◇558 (52-2) 2012.3 B5 8p 600円

新刊紹介 日本の伝統的民俗舞楽の調査並びにその遡源に関する研究(前編) 水原渭江著  
 海と山の祈り  
 ー若狭湾沿岸の王の舞 水原 渭江  
 新国指定・登録・選択の民俗文化財ー平成24年1月20日文化審議会答申  
 串間市広野の十五夜行事「もぐらもち」(1) 三輪 京子  
 水原渭江著 日本の伝統的民俗舞楽の調査並びにその遡源に関する研究(前編) 目次

◆もりやま 守山郷土史研究会  
 〒463-0075名古屋市中守山区市場15-12  
 道木正信方 TEL052-791-2304  
 年3000円 1982年創刊  
 ◇31 2012.1 B5 208p  
 長母寺の足洗い 道木 正信  
 瀬戸線あれこれ(4) 伊東 重光  
 吉根雑考 徳田百合子  
 伝わりし秘薬考 藤森 宏美  
 御用水の水源を訪ねて 森友 肇  
 枯木も山の賑わい 西尾 春子  
 資料紹介  
 西天山石山寺の十二天軸について 市江 政之  
 て 下志段味村加藤公生家文書(1) 道木 正信  
 小幡村御饗留(23) 小幡村長谷川和子家文書 道木 正信  
 ー明治六年 御用留 守山古文書の会  
 明治六年大森村願書留 道木 正信  
 小幡村長谷川和子家文書 道木 正信  
 もりやま既刊号目次(第21号～第30号) 守山郷土史研究会  
 守山郷土史研究会の歩み(31) 守山郷土史研究会  
 平成23年発掘調査現地説明会資料

一大久手4号墳・5号墳 守山郷土史研究会  
変貌する瀬戸線(3) 荒川 康彦

◆史料 皇學館大学史料編纂所報  
〒516-8555三重県伊勢市神田久志本町1704  
TEL0596-22-6462 1978年創刊

◇233 2012.2 B5 16p 300円  
「太子」の用語に関する覚書 近藤左知子  
足達嶮邸臨摸「句麗古碑」  
一広開土王碑研究の一齣(1) 荊木 美行  
いにしへの伊勢(12)―絵葉書・古  
写真に見る戦前の宇治山田 山田 修司

## 近畿

◆近江学 近江学研究所紀要  
成安造形大学附属近江学研究所  
〒520-0248滋賀県大津市仰木の里東4-3-1  
TEL077-574-2118 2009年創刊  
www.seian.ac.jp/omi/

◇4 2012.1 AB 94p 1800円  
《特集 “石”のある風景》  
文化誌『近江学』の挑戦 木村 至宏  
海 津 寿福 滋  
対談 穴太衆積一命が宿る石の声

栗田純司／大岩剛一  
門前町坂本の景観 木村 至宏  
近江の石積み 中井 均  
近江の渡来人

一古代近江の国際的環境 井上 満郎  
「私と近江の関わり」2011年 金澤 徹  
近江の風景 大野俊明／小善善通  
インタビュー 永田萌「近江の魅力」  
シリーズ近江の意匠Ⅰ

奥田博士一信楽と造形 辻 喜代治  
シリーズ近江の意匠Ⅱ  
近江の近代建築ヴォーリズ 人長 信昭  
ふるさとの風景をつくる山 今森 光彦  
講座「近江学」／[近江学研究所]

## 概要

◆彦根城博物館だより  
〒522-0061滋賀県彦根市金亀町1-1  
TEL0749-22-6100 1988年創刊  
www.city.hikone.shiga.jp/museum/

◇96 2012.3 A4 4p  
資料紹介 七言古詩「春江花月夜」  
龍草盧筆 当館蔵 高木 文恵  
展示案内 3月～6月 3/9～4/10  
展示室1 直弼発見！彦根藩世  
継・井伊直弼／テーマ展 4/13  
～5/15 展示室1 国宝・彦根  
屏風／テーマ展 5/18～6/19  
展示室1 女の面―井伊家伝来  
能面から／テーマ展 6/22～  
7/24 展示室1 華麗なる調度  
―精宮宜子愛用の品々  
募集／催し／スケジュール  
研究余録 金亀玉鶴 彦根城表御  
殿能舞台建設の歴史的意味 渡辺 恒一

◆民俗文化 滋賀民俗学会  
〒520-1121滋賀県高島市勝野1681-5  
TEL0740-36-1414 年4800円  
sigaminzoku.fc2web.com  
◇581 2012.2 B5 12p 400円  
人類の一生は一代限りではない―  
万物の霊長といわれているのに  
何故お互いが争うのか 菅沼晃次郎  
茂賀山城跡探訪  
一彦根市賀田山町茂賀 長谷川博美  
湖北三十三観音巡拝(1)  
一木之本・田部・保延寺 馬場杉右衛門  
滋賀の石造文化財(中世)の概観に  
ついて(20) 福澤 邦夫  
糸瓜(ヘチマ)について 粕渕 宏昭  
細字書きについて 粕渕 宏昭

若き頃の沢田四郎作博士(後) 関 啓司  
浜名湖畔の三か日町で祀られてい  
る神々について―浜松市北区三  
か日町 田中 春二  
垣兵団のレイテ玉砕(4) 馬場杉右衛門  
講談師 旭堂南陵(二代目)の聞き  
書き一代記(10) 菅沼晃次郎  
◇582 2012.3 B5 12p 400円  
平成城郭講演の考現学と昨今の風  
潮 長谷川博美  
神(仏)様を騙す話 関 啓司  
長浜八幡宮「縁松(えにしまつ)」  
について 粕渕 宏昭  
湖北三十三観音巡拝(2)  
一重則・西野・磯野 馬場杉右衛門  
滋賀の石造文化財(中世)の概観に  
ついて(21) 福澤 邦夫  
名刺について 粕渕 宏昭  
垣兵団のレイテ玉砕(5) 馬場杉右衛門  
講談師 旭堂南陵(二代目)の聞き  
書き一代記(11) 菅沼晃次郎

◆季刊 禅文化 禅文化研究所  
〒604-8456京都市西京区西ノ京壺ノ内町  
8-1 花園大学内 TEL075-811-5189  
年5000円 www.zenbunka.or.jp  
◇223 2012.1 A5 160p 1200円  
吾が師を語る  
加藤隆芳老師と平野宗浄老師 吉田 道彦  
大拙館開館  
金沢市に「鈴木大拙館」開設 上田 閑照  
世界の自由人鈴木大拙 上田 閑照  
禅宗語録入門読本(14)  
青原行思と石頭希遷 小川 隆  
ゼミナール・禅思想の道を歩く  
購読『信心銘夜塘水』(6) 西村 恵信  
南宋・金の衰亡と禅(下之中)  
要説・中国禅思想史(32) 伊吹 敦

禅僧の死に様(6) 東山湛照 藤田 琢司  
善財童子の求道ものがたり(24)―  
香料の豪商ウトパラブーティ  
(青蓮華の香化)の説く道 小林 圓照  
鎌倉瑞泉寺と大徳寺大仙院の庭園  
池庭と枯山水 町田 香  
長岡禅塾物語(2)  
大徹無為居士と香洲老師 北野 大雲  
沈黙と言葉  
第12回東西霊性交流報告 武藤 亮飛  
引き算の世界  
篠原大雄老師のこと 後藤 典生  
恕のこころ 姫野 晴道  
聖域巡礼(完結編)  
私の目から見るチベット 李 建華  
復活(2) 平塚 景堂  
多法摩山曹源寺 トーマス・カーシュナー  
グラビア 無関文庫蔵 禅林墨蹟  
東嶺円慈  
寺庭さんのリレー・エッセイ  
寺に生まれ、寺に嫁いで 柴田 由記  
和尚さんの身体講座(33)  
安楽坐禅法入門(3) 樺島 勝徳  
母もつひに土となりたり  
一寺山修司の母の歌 佐伯 裕子  
表紙解説 藤元 裕二  
いっぽく拝見

◆史迹と美術 史迹美術同致会  
〒606-8048京都市上京区下立売通小川東入  
西大路町146 中西ビル内  
FAX075-441-3159 年8000円 1930年創刊  
◇822 (82-2) 2012.2 A5 34p 915円  
欽明紀小考(中) 田寺 英治  
日本の塔百選(2)  
南法華寺(壺坂寺)三重塔 中西 亨  
鰐口の銘文(16) 愛甲 昇寛  
第965例会 西三河の文化財 水野 孝文

新刊紹介 『七代目小川治兵衛』  
(尼崎博正著) 矢ヶ崎善太郎  
第34回 総会報告  
◇823 (82-3) 2012.3 A5 34p 915円  
狩野尚信と絵馬 寺本 健三  
日本の塔百選(3) 法隆寺五重塔 中西 亨  
唐津・壱岐・対馬・釜山 本田 義幾  
第96回例会 姫路の古寺をめぐ  
る一書写山円教寺、弥勒寺、随  
願寺 八田 洋子  
「石造美術勉強会」のおしらせ 品角阿止美  
関係誌紹介

#### ◆泉佐野の歴史と今を知る会会報

〒596-0845大阪府岸和田市阿間河滝1425  
井田寿邦方 TEL0724-28-0204 年1200円  
◇290 2012.2 B5 10p  
中世の安末の油商人補遺 廣田 浩治  
ビルマ戦線回顧録(2) インパー  
ル作戦船舶工兵の記録 長滝谷忠治  
和泉の中世城郭(8) 井田 寿邦  
◇291 2012.3 B5 10p  
新川八郎左衛門家 新川正直／北山理  
ビルマ戦線回顧録(3) インパー  
ル作戦船舶工兵の記録 長滝谷忠治  
和泉の中世城郭(9) 井田 寿邦

#### ◆大阪の歴史 大阪市史編纂所

〒550-0014大阪市西区北堀江4-3-2  
大阪市立中央図書館内 TEL06-6539-3333  
1980年創刊  
◇77 2012.1 A5 184p 700円  
平野郷町にみる触書伝達システム  
と諸文書の授受・作成一貞享五  
年「今井九右衛門様御下知并諸  
事書上留帳」を素材として 佐藤 孝之  
座談会 平野郷町の歴史をめぐっ  
て一村田隆志氏を囲んで

村田隆志／藤江正謹／平  
井和／黒瀬泉／戸田嘉子

#### 史料紹介

平野庄下代官の一代記(1)  
一長井宗左衛門覚書 野高 宏之  
永代小日記 山中 浩之  
元禄期の大坂目付(下)一若狭野  
浅野家文書の大坂目付関係史  
料の紹介 上田 長生  
天保十二年天王寺村の徒党・打  
ちこわしについて 松永 友和  
みおつくし 正平の大地震 生駒 孝臣  
受贈図書資料  
新刊図書紹介 『ニッポン猪飼野  
物語』、『明治期大阪の演芸速記  
本基礎研究』『続・明治期大阪  
の演芸速記本基礎研究』『続々・  
明治期大阪の演芸速記本基礎研  
究』、『近代大阪の工業化と都市  
形成』、『阪神・淡路大震災像の  
形成と受容』

#### ◆大阪歴史懇談会会報

〒536-0008大阪市城東区関目2-3-2  
TEL06-6931-1081 年5000円 1984年創刊  
blog.goo.ne.jp/rekisitannbou/  
◇330 (29-2) 2012.2 B5 12p  
浪速今昔百景(12) 鶴満寺 川村 一彦  
1月例会報告(第305回)「平清盛と  
神戸」一福原遷都 野村貴郎氏  
／古文書講座(第130回)「酒林・  
酒場貸借につき触」石川道子先  
生  
会員投稿 源田實の望んだ道 朝山 真哉  
会員投稿 夏見庵寺 吉川 三郎  
◇331 (29-3) 2012.3 B5 12p  
浪速今昔百景(13)  
ながらの国分寺 川村 一彦

2月例会報告(第306回)「アテルイ  
・モレの史実」一清水寺に顕彰  
碑の建立まで 松坂定徳氏／講  
演「アメリカ合衆国のドルの歴  
史とマルク札について」久保敏  
博氏

#### ◆かいづか文化財だより テンプス

貝塚市教育委員会  
〒597-8585大阪府貝塚市島中1-17-1  
TEL072-433-7126 1996年創刊  
◇48 2012.2 A4 8p  
江戸時代文化8年の水間寺本堂再  
建／平成23年度貝塚市郷土資料  
展示室特別展のお知らせ「水間  
寺の歴史と宝室」  
古文書をひも解く  
水間寺境内絵図(水間寺所蔵)  
平成23年度の埋蔵文化財調査／願  
泉寺境内の発掘調査  
文化財防火デー消防訓練

#### ◆河童通心 和田寛

〒591-8021堺市北区新金岡町5-4-327  
TEL072-251-2586 年2400円  
◇338 2012.2 A5 14p 200円  
馬場のぼるの「山から来た河童」  
とその時代 和田 寛  
河童が登場する爆笑歌舞伎「大当  
たり伏見の富くじ」 和田 寛  
「河童文庫」増加図書目録

#### ◆近畿文化 近畿文化会

〒543-0001大阪市天王寺区上本町6-5-13  
上本町YUFURA 7階  
TEL06-6775-3686 年2200円  
◇747 2012.2 A4 8p 300円  
国宝の建築

犬山城天守と茶室「如庵」 江ヶ崎善太郎  
大山崎・長岡京の古寺と仏像 関根 俊一  
◇748 2012.3 A4 10p 300円  
吉野川分水路をたどる  
一下瀬頭首工から桜井まで 来村多加史  
磯城・磐余の前期大型古墳をめぐ  
る 関川 尚功

#### ◆堺行基の会会報

〒599-8266堺市中区毛穴町462-8 吉田方  
TEL072-271-5972  
◇34 2011.8 B5 10p  
5月22日 23年度総会開かれる  
平城京遷都千三百年  
藤原氏専横の時代と行基 鳥居 俊作  
薬師寺東塔大修理法要に参加して  
下垣内信夫  
2011年4月3日 史跡めぐりの記録

#### ◆左海民俗 堺民俗会

〒590-0144大阪府堺市南区赤坂台1-46-9  
山崎琢磨方 TEL072-298-8651 年3000円  
◇138 2012.1 B5 10p  
《特集 葬式・法事》  
むかしのお葬式 川村 淳二  
記憶に残る葬儀のいくつか 阪口 興  
学童疎開先で見た葬列と火葬場 岸 繁司  
田舎の法事 山崎 琢磨  
死を知らせるカラスの伝承 加藤 孜子  
訃報連絡  
やさしい風になって 濱田美代子  
堀田叔子様を偲んで 下谷 悦子  
堀田さんの急逝を悼む 佐原 浩二  
例会報告と一口メモ

6月例会報告(6月5日) 京都の  
幕末遺跡と寺町通りを歩く 川村 淳二  
6月例会報告(6月14日)  
熊野古道V(長滝～山中溪) 佐原 浩二



7月例会報告(7月10日) 宮宿・熱田神宮・有坂紋会館と街並散歩 川村 淳二

9月例会報告(9月17日) 安曇川流域の生水の郷散策 佐原 浩二

10月例会報告(10月16日) 秋の山科疎水の散策 植田 敏義

10月例会報告(10月3日) 熊野古道Ⅵ(山中溪～布施屋) 佐原 浩二

◆城だより 日本古城友の会  
〒577-0044大阪市西成区玉出中2-11-28  
平川大輔方  
web1.kcn.jp/kojyo\_tomonokai/  
◇519 2012.3 B5 20p  
河内・大和 信貴山城、高安山城を探访します(4月・第582回例会)のご案内  
5月・第583回例会の予告／セミナーのご案内／受贈図書・資料／城郭ニュース／編集部より  
2月・第580回例会の報告  
飯盛山城、野崎城 川岡 治  
会員通信  
飯盛山城(鳥瞰図) 川端 義憲  
陣屋と大名(承前) 陣屋大名の家臣団とその例 播磨小野藩 上田 正和  
最初で最後の、近江、高取山城を訪ねて 川端 義憲  
新聞記事紹介

◆つどい 豊中歴史同好会  
〒560-0884大阪府豊中市岡町北2-8-11  
山口久幸方 TEL06-6857-4959  
homepage2.nifty.com/toyonakarekishi/  
◇289 2012.2 B5 18p  
佐紀盾列古墳群の謎をさぐる一大

和北部と山城、南部の政治勢力 塚口 義信  
近くの旧街道を歩いてみませんか 小川 滋  
北陸の古代史を巡る旅(2) 古高 邦子  
読書室 地震の日本史 大地は何を語るのか 増補版 寒川旭(中公新書)  
◇290 2012.3 B5 16p  
投稿特集 平安京風水論考私案 草川 英昭  
銅鐸をみつけました 津島 隆治  
如意輪観音(観心寺) 勝間 康雄  
1月の現地見学(龍田大社と達磨寺) 草川 英昭  
市大樹先生日本学術振興会賞を受賞

◆ヒストリア 大阪歴史学会  
〒657-8501神戸市灘区六甲台町1-1  
神戸大学人文学研究科 市沢哲研究室  
1951年創刊 www.soc.nii.ac.jp/historia/  
◇230 2012.2 A5 192p 800円  
郷土集団と由緒  
一甲賀古土の動向から 藤田 和敏  
海軍の兵事事務と地方行政 中村 崇高  
研究ノート  
平安時代の留守一撰関期を中心に 吉永 壮志  
近世周防宮本浦と長期市の構造  
一嘉永六年花相撲興行を中心に 久角 健二  
大会部会報告 中世 禁裏文書にみる室町幕府と朝廷 末柄 豊  
大会個人報告 近世 近世前期の幕府による公家への行動規制と身分制 野村 玄  
わたしたちの文化財  
旧大阪府庁舎跡の発掘調査 市村慎太郎

新刊紹介  
原田正俊著『天龍寺文書の研究』 山田 徹  
船田淳一著『神仏と儀礼の中世』 新見 克彦  
荒武賢一朗編『近世史研究と現代社会—歴史研究から現代社会を考える—』 上田 長生  
長野ひろ子／姫岡とし子編著『歴史教科書とジェンダー：教科書からサブカルチャーまで』 池田 直子  
報告  
根来寺遺跡の保存再要望書の提出 企画委員会  
郡山新木山古墳発掘調査の見学会報告ほか 岸本直文／山田暁／北山峰生  
奄美豪雨で被災した歴史資料保全の取り組み 魚津 知克  
委員会報告

◆郵政考古紀要 大阪・郵政考古学会  
大阪中央郵便局私書箱127号 辻尾榮市  
◇49(通巻58) 2010.9 A5 75p  
前期難波宮の特色と発掘調査の苦労 直木孝次郎  
縦縞の長裾・男装の女性・出行図  
一高松塚古墳壁画の人物群像をめぐって 山本 忠尚  
植原陳政『游華日記』(2) 佐藤 武敏  
明治初期「買物案内」にみる洋装化と都市(中) 辻尾 千曉  
◇50(通巻59) 2010.12 A5 237p  
《佐藤武敏先生頌壽記念論攷》  
植原陳政『游華日記』(3) 佐藤 武敏  
『莊子』逍遙遊篇冒頭の話と馬王堆帛画 大形 徹

祚伯鼎銘文の検討 木村 秀海  
周の東征と斉の封建 齋藤 加奈  
周秦漢代における辟雍の位相—礼楽センターと君主の苑囿の二つの機能に注目して 佐藤 信弥  
古代中国における規と矩の一考察 重信あゆみ  
佐藤武敏先生所蔵「殷代卜辞骨版」をめぐって 末次 信行  
殷代の「衆」とその身分および社会的役割について 高橋 知寛  
中国の古代刳舟と構造舟の起源 辻尾 榮市  
漢唐間における地理の叙述とその系譜 中村 圭爾  
鄂君啓節と鄂の所在地 三輪 健介  
『穆天子傳』黄竹詩の押韻について 村上 幸造  
あとがき 殷史研究会  
◇51(通巻60) 2011.9 A5 54p  
正倉院にはなぜ大型鏡が多いのか 山本 忠尚  
明治初期「買物案内」にみる洋装化と都市(下) 辻尾 千曉  
山東省梁山県発見の明代初期軍船 燐嶋 驢史  
◇52(通巻61) 2011.12 A5 68p  
藤森栄一から贈られた切手帖 坪井 清足  
前期難波宮の小石敷きをめぐって  
一旧地表高さと建物復元についての一考察 李 陽浩  
中国福建省泉州文興、美山古代埠頭(港湾)遺跡について 辻尾 榮市

◆あわじ 淡路地方史研究会  
〒656-0053兵庫県洲本市上物部161-8  
TEL0799-24-1512 年6000円 1984年創刊  
◇29 2012.1 B5 94p  
はじめに 武田 信一

知行付百姓の給知割について一考  
 察一金屋村・鮎原上村給人拝知  
 帳を中心に 北山 學  
 吉山明兆史料一自画像を中心に 黒田 敏夫  
 淡路霊場記(3) 武田 信一  
 東京湾に次ぐ国防上の要塞・由良  
 要塞 原田 修一  
 農村芸能 清和文楽を訪ねて 大江 恒雄  
 鞍馬山の天狗とウチハ 伊郷 好文  
 古銭一父の遺品から分かること 堀部るみ子  
 「大宮警察署江坂町巡査駐在所」 定本 義広  
 画家「竹久夢二」の先祖は淡路か  
 ?一熊野観心十界曼荼羅を読ん  
 で 高田 成樹  
 鍼灸随想 羽田 功一  
 五島列島 谷 勝美  
 明兆生誕六六〇年に向けて  
 東福寺参拝・明兆墓参ツアー 東 雅雄  
 洲本市文化協会「第二回文化の旅」  
 に参加 秋の小豆島 北原 文雄  
 報告 会員の著作物紹介、会員の  
 書籍出版／淡路地方史研究会例  
 会記録

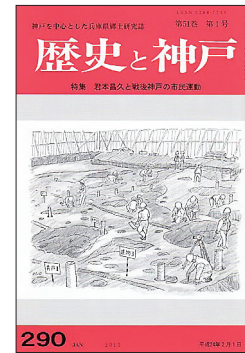
◆神戸史談 神戸史談会  
 〒654-0151神戸市須磨区北落合4-26-6  
 佐藤憲太郎方 TEL078-793-5348  
 年3000円 1926年創刊  
 ◇309 2012.1 A5 64p  
 口絵 神戸・祇園遺跡で平家一門  
 の邸宅跡発掘  
 平清盛と神戸一年頭挨拶 加藤 隆久  
 随筆 平清盛 服部 晃  
 出雲国造 野見宿禰 どいかずこ  
 資料紹介 武藤山治記念館の由来 田中 正文  
 妙法寺の宝篋印塔 丘の上から見  
 た景色と小国民の思い出 加門 得勇

三木の医家・神澤家 飯塚 修三  
 6月例会 実相寺 頼富 本宏  
 7月例会  
 務古の海と求の塚の考察 どいかずこ  
 9月例会 兵庫北風家の蝦夷地御  
 用産物取扱いに関する史料につ  
 いて 木南 弘  
 10月例会 復活西国街道こぼれ道  
 シリーズ「灘区編」 豊田 實  
 11月例会  
 西摂津地域の中の兵庫津 河野 未央

◆西宮文化協会会報  
 〒662-0974兵庫県西宮市社家町1-17  
 西宮神社内 TEL0798-33-0321  
 ◇527 2012.2 B5 8p  
 2月行事案内 会員作品発表会  
 渡辺二笙木彫作品展  
 神宮摂末社めぐり(2) 御酒殿神／  
 四至神／風日折宮／瀧祭神／大  
 山祇神社／子安神社  
 J R 櫻井線 奈良一大和高田(2) 吉井 貞俊  
 ◇528 2012.3 B5 8p  
 3月行事案内 見学会 大和阿騎  
 野大宇陀で薬膳賞味／3月行事  
 ガイド  
 神宮摂末社めぐり(3) 饗土橋姫神  
 社／津長神社／大水神社／月讀  
 宮／月讀荒御魂宮／伊佐奈岐宮  
 J R 櫻井線 奈良一大和高田(3) 吉井 貞俊

◆歴史と神戸 神戸史学会  
 〒657-0845神戸市灘区岩屋中町3-1-4 田中  
 印刷出版内 TEL078-871-0555 年3000円  
 ◇290 (51-1) 2012.2 A5 49p 600円  
 《特集 君本昌久と戦後神戸の市民運動》  
 市民同友会と君本昌久 大村 卓弘  
 最期の同伴者—フランツ・シナト

ラ氏かく戦へり 玉井 洋子  
 君本昌久の戦後—「市民」像との  
 格闘について 高木 伸夫  
 戦後派モダニズム詩人君本昌久  
 たかとう匡子  
 3月4日に神戸・阪神歴史講座／3  
 月18日に卒論報告会開催／会計  
 報告



\*戦後間もない昭和23年、神戸に市民社会を  
 実現させようと結成された「市民同友会」と、  
 25歳の若さで入会して会の中心的存在とな  
 り、生涯これを支えた詩人君本昌久を特集す  
 る。母体は前年に一市営住宅の住民12名によ  
 って自然発生的に始められた「むろうち文化  
 協会」なる集まりであった。会員と社会一般  
 の教養を高め文化の向上を図るために常設の  
 集会場を提供し、市民社会の中核的推進体の  
 役目を果たすことを目的として誰にも開かれ、  
 特定の個人・団体、政党、官公庁の援助を求  
 めず、独立・自立の団体として活動した。東  
 京から長谷川如是閑、佐野学などを招いた講  
 演会、地域婦人会、青年団、中学校等への講  
 師派遣、会場を開放しての書道講座、洋裁講  
 習、青年市政研究会など多様なものであった。  
 37年には、創立メンバーであった落合重信  
 によって神戸史学会が創設される。綱領は市  
 民同友会で検討されて、進歩的で生活の中の

歴史といった視点が盛り込まれ、機関誌「歴  
 史と神戸」の誌名は君本の提案であった。  
 ベトナム戦争がエスカレートし、市民に声  
 なき声運動が高まる中で、君本は文学塾の性  
 格を帯びた「市民の学校」を開設する。大村  
 卓弘氏はその意図を「市民が一人ひとり自分  
 の言葉を持つ」ということだったのだらうと  
 指摘。また高木伸夫氏は、君本にとって市民  
 とは、自由な近代的個人として行動すること  
 と述べる。君本はその後、神戸空襲を記録す  
 る会事務局長、市民同友会理事長として自らの  
 理念を追求するが、社会構造の大きな変化  
 や、会の財政困難に直面し、平成6年に創立  
 45周年記念誌『夢のあとをめぐれば』を残し  
 て解散。9年、自らも癌との壮絶な闘いの末  
 に逝った。市民同友会と君本の残したものは  
 大きく、混沌とする現代社会を考える時、本  
 特集の意義は重い。  
 ◇291 (51-2) 2012.3 A5 49p 600円  
 《特集 史料から読む西浜の近世史散策》  
 公儀普請の大物橋—『大坂代官 竹  
 垣直道日記』より 中村 光夫  
 未生流挿花と尼崎 村上 昭彦  
 岡本家大庄屋日記より天保五年 高田 耕三  
 動乱期の青少年教育史話 ああ筒  
 台の辺に一戦中戦後を生きた中  
 高生の記録 (7) 森田 修一  
 地名研究(102) 神戸の地名探索  
 八部郡 『和名抄』と地名 渋谷 武弘  
 「ラヂオ塔」が神戸・諏訪山と豊  
 中にも残っていた 吉井 正彦  
 神戸史談会の Web サイトリユー  
 アル— NetCommons による再  
 構築 高田 祐一  
 6月17日に第6回神戸・阪神歴史講  
 座 のじぎく文庫『神戸～阪神  
 海辺の歴史』出版記念企画／資  
 料保全活動に関わるボランティ

ア登録のお願い  
新聞地域版を読む／受贈図書

◆大美和 大神神社  
〒633-8538奈良県桜井市三輪  
TEL0744-42-6633 www.oomiwa.or.jp  
◇122 2012.1 B5 80p  
頌 春 鈴木 寛治  
古事記撰進1300年記念  
文体から眺める古事記 毛利 正守  
三輪山セミナーイン東京講演録  
東國の出現期古墳と大和政権 大塚 初重  
大神神社の美術工芸―漆工品 高橋 隆博  
三輪山セミナー講演録  
百合と風―イスケヨリヒメ攷 内田 賢徳  
神道を「医心方」からみる一鏡・  
茅の輪・ひとがたについて 横 佐知子  
世界平和の祈りの日  
世界集会に参加して 井上 卓朗

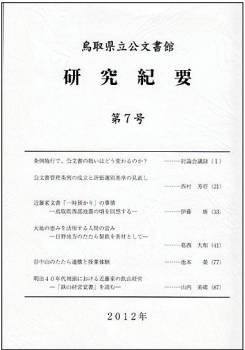
◆紀南・地名と風土研究会会報  
〒646-0003和歌山県田辺市中万呂207  
桑原康宏方 TEL0739-22-0483  
年2000円 1985年創刊  
◇49 2012.1 B5 24p  
廃村平治川の残照 杉中浩一郎  
「ひとつたたら」伝承と色川の地名

田中 弘倫  
熊野九十九王子社について 橋本 観吉  
幻の白原王子社 桑原 康宏  
資料と解説 土に埋もれた喜代姫  
由来絵巻 吹揚 克之  
隅田党城館跡を探す 田中 伸幸

中国・四国

◆鳥取県立公文書館研究紀要  
〒680-0017鳥取県鳥取市尚徳町101  
TEL0857-26-8160 2005年創刊

◇7 2012.3 A5 103p 500円  
討論会議録 条例施行で、公文書の扱いはどう変わるのか？  
足田晃／安藤繁／山脇幸人／  
池上祥子／前田信彦／西村芳将  
公文書管理条例の成立と評価選別  
基準の見直し 西村 芳将  
近藤家文書「一時預かり」の事情  
―鳥取県西部地震の頃を回想する 伊藤 康  
大地の恵みを活用する人間の営み  
葛西 大和  
谷中山のたたら遺構と操業体験 池本 榮  
明治40年代初頭における近藤家の  
鉄山経営―「鉄山経営覚書」を  
読む 山内 美緒



＊鳥取県は平成23年9月に、21年公布の公文書等の管理に関する法律の趣旨に則って、「鳥取県公文書等の管理に関する条例」を制定した。これは地方自治体の努力義務として県の公文書等の適正管理を定めたもので、都道府県として三番目になる。  
「条例施行で、公文書の扱いはどう変わるのか？」は、県公文書館長を進行役に、同館専門員、県担当部局職員、倉吉市立図書館副館長と国立公文書館専門官を交えた討論会である。国立公文書館専門官から、県条例が国

レベルで困難な議会文書を対象としオール県庁で取り組んでいることの評価と、文書を館に引き継ぐよう求めることができるのと、いわゆる「できる規定」になっていることの疑問が出される。また、県担当部局からは、電子管理システムによる市民への公開へ取り組みが報告される。誰のために公文書を作ったのか、作成、保存、住民利用の仕組みをしっかりと考えていくことが確認される。  
西村芳将「公文書管理条例の成立と評価選別基準の見直し」は、条例制定に伴って定められた「鳥取県立公文書館歴史公文書等選別方針」が選別評価業務に与える影響を考えたものである。条例が「歴史資料として重要な公文書その他の文書」と限定したことで、選別方針も「すべて引き継ぐもの」と「すべて引き継がないもの」に整理され、行政の事業類型ごとに23分類の基準に当てはめて判断することになった。西村氏は、意図するところは「資料の歴史的価値の判断は未来に開かれており、記録を将来の人々に伝えたいという意志、残しておきたいという気遣いこそが評価選別の最後の砦となるという思想を盛り込んだ点がこれまでとの違いである。」と述べる。大切なことである。

◆宇喜多家史談会会報  
〒700-0826岡山市磨屋町6-28 光珍寺内  
TEL086-222-2028 年2000円 2002年創刊  
◇41 2012.2 A4 10p  
十周年の年頭にあたりまして 柴田 一  
関ヶ原合戦図屏風と宇喜多秀家 出宮 徳尚  
円融院 お福(宇喜多秀家の母・戦  
国・16世紀) 田淵 陽一  
秀家の妻「お豪」の名前の由来考 矢吹 壽年  
物語直家記伝 乙子の城 第13回 山重十五郎  
相克(4)

会員サロン  
宇喜多氏のルーツは!? 小野田 伸  
平成24年度宇喜多家史談会総会  
開催通知 石渡 隆純

◆岡山藩研究 岡山藩研究会  
〒169-0051東京都新宿区西早稲田  
早稲田大学文学部 紙屋研究室内  
www.waseda.jp/assoc-okayamahan/  
◇66 2012.2 B5 17p  
〈第32回全体会の記録〉  
報告要旨  
八戸藩江戸留守居研究序説 永嶺 信孝  
討論要旨  
参加記  
永嶺信孝氏報告「八戸藩江戸留守居研究序説」を聞いて 白根 孝胤  
永嶺信孝氏の報告を聞いて 山本 英貴  
事務局から

◆きび野 岡山県郷土文化財団  
〒700-0813岡山市石関町2-1  
TEL086-233-2505  
◇124 2012.1 A5 14p  
表紙説明 松原三五郎『父の像』妹尾 克己  
年頭にあたって 柴田 一  
随想 五稜郭石垣建設者  
井上喜三郎のこと 中山 沃  
岡山の人物 万代常閑 木下 浩  
岡山の自然  
二上山からの眺望と雲海 井上 観真  
岡山の文化財  
江川三郎八と金光学園記念講堂  
わが町・わが村の自慢  
ルネスホール 金庫棟(岡山市)  
ふるさとの想い出  
西江邸(高梁市成羽町)  
文化財団ニュース／催しのご案内



／会員だより／ご案内

◆倉敷の歴史 倉敷市総務局総務部総務課  
〒710-1398岡山県倉敷市真備町箭田1141-1  
総務課歴史資料整備室 ☎086-698-8151  
1991年創刊 www.city.kurashiki.okayama.jp  
◇22 2012.3 A5 136p  
特別寄稿 児島の史誌 編集の記  
大谷 壽文  
細川通董の野洲家相続とその背景  
畑 和良  
新緑側の江戸出訴と中島屋本分家  
の動向—江戸出訴人源助あて本  
家平蔵の書状などを手がかりに  
首藤ゆきえ  
三島毅・桂父子に関する覚書  
—中洲翁の遺言とその結末 太田 健一  
犬養毅と安原太郎  
—犬養毅の支持基盤を探る 前田 昌義  
聞き書き昭和史 三菱石油水島精  
油所重油流出事故と安全への取  
り組み 安田弘志／高杉正  
史料紹介 18世紀後半倉敷の庶民  
女性が絡んだ事件の資料 定兼 学  
史料群紹介 備中国窪屋郡倉敷村  
大橋紀寛家文書 山本 太郎  
アラカルト 宇喜多氏備中領の範  
囲について 森脇 崇文  
報告 平成22年度歴史資料講座  
新刊紹介 『倉敷教会百年史』、倉  
地克直・山本太郎・吉原睦『絵図  
で歩く倉敷のまち』、吉原睦『倉  
敷美観地区—歴史と民俗—』、  
『資料集 三島中洲の書』その一  
・その二、『資料集 三島中洲  
の書』その一・二(解説編)、『資  
料集 三島中洲の書』その三  
歴史資料整備室日誌

◆芸 備 芸備友の会  
〒731-0135広島市安佐南区長束1-4-12-10  
小都隆方 1973年創刊  
◇39 2011.11 B5 94p 1000円  
《特集 考古学から探る地域相》  
「考古学から見た郷土の歴史」講  
座の報告  
矢谷弥生墳墓群(国史跡「矢谷  
古墳」)の歴史的意義 加藤 光臣  
弥生時代における備後地域の南  
北交流を探る 伊藤 実  
塩町遺跡出土の弥生線刻文土器 加藤 光臣  
備後国北部の古代交通路について  
—三谷・三次両郡衙を結ぶ伝路  
中山 学  
安芸高田市吉田町明官地古墳群の  
調査研究(1)—第1号古墳の墳丘  
と出土遺物の調査 安間 拓巳  
安芸高田市郡山城跡採集の土師質  
土器 重森 正樹  
◇40 2012.2 B5 106p 1000円  
《特集 広島県の埋蔵文化財はいま…》  
〈芸備友の会第17回例会報告〉  
芸備友の会第17回例会報告  
広島県の埋蔵文化財はいま… 後藤 研一  
埋蔵文化財保護行政の現状 沖 憲明  
開発に伴う発掘調査と民間調査組  
織利用の現状 藤野 次史  
埋蔵文化財の活用について 脇坂 光彦  
意見交換の概要 芸備友の会  
「広島県の埋蔵文化財はいま…」  
についての意見・感想  
芸備友の会／伊藤実／沖憲明／  
小都隆／加藤光臣／桑原隆博／  
重森正樹／新祖隆太郎／竹広文  
明／藤野次史／古瀬清秀／松下  
正司／山田繁樹／(匿名2名)  
遺跡・文化財の動向(2011年) 芸備友の会

◆芸備地方史研究 芸備地方史研究会  
〒739-8522広島県東広島市鏡山1-2-3 広島  
大学大学院文学研究科日本史学研究室内  
☎082-424-6643 年3000円 1953年創刊  
◇279 2012.2 A5 38p  
研究ノート 森谷南人旧宅採集の  
高麗鏡について 脇山佳奈／八幡浩二  
動 向  
「建国記念の日」のヒロシマ(45)  
歴史講座「広島県の歴史」の記録  
新聞記事から(2006年1月～6月)  
広島県の地方史研究  
芸備掲示板  
春の企画展「雛と雛道具」展  
日本郷土玩具博物館  
平成23年度収蔵文書展 広報資  
料からみた広島県政の歩み—  
1970～2000 広島県立文書館

◆備陽史探訪 備陽史探訪の会  
〒720-0824広島県福山市多治米町5-19-8  
☎084-953-6157 www.3plala.or.jp/big-eye/  
◇164 2012.2 A4 20p  
福山の中世石造物 田口 義之  
論考 古志豊綱の活躍年代 矢田 貞美  
懐かし写真館 在りし日の福山城  
研究ノート  
消滅した「高岩第一号古墳」に  
ついて(福山市今津町東坂) 岡田宏一郎  
銀山城の語源 根岸 尚克  
例会報告  
「野呂往還を歩く」に参加して 小林 康義  
ワンショット・レポート—野呂往  
還を歩く  
例会報告 美作の中世山城を訪ね  
る—備後福田氏の足跡を辿る 野村 秀樹  
郷土探訪 街歩きが好き! 「頌徳  
碑・記念碑」に目が点になる! 岡田宏一郎

山城レポ 岩村城に登って 川内 和夫  
山城レポ 続・怨霊の城 末森 清司  
写真で見る郷土探訪(福山市)  
四ツ堂探訪 シリーズ「四ツ堂探  
訪」によせて 田口 由実  
第1回 古文書にみる四ツ堂  
神田阿弥陀地藏堂(駅家町雨木)  
随想 古墳も迷惑な大阪の陣 野母 寿子  
大分便り 大分県庁設置140年 後藤 匡史  
情報BOX  
記念植樹してみませんか?  
読者投稿 平成24年度の目標 末森 清司  
おすすめ図書 戦国時代の大誤解  
(鈴木真哉、PHP新書)  
総会報告 平成24年度総会  
2月ミニ例会  
ぶら探訪巻「本庄を歩く」

◆広島郷土史研究会会報  
〒737-0112広島県呉市広古新開2-1-4  
呉市広公民館内 ☎0823-71-0706  
1998年創刊  
◇108 2012.3 A4 24p  
芸州東西条郡代居城「鏡山城」北  
面、陳ヶ平山方面より望む 上河内良平  
芸州大永争乱期の呉浦千束要害と  
大歳山 付・音戸の瀬戸城の歴  
史と平清盛公の瀬戸開削伝説 上河内良平  
明治期の初等教育で使用された簡  
易読本巻二の抜粋紹介 吉田 顕治  
藤田家文書 第Q章 藤田家財産  
目録・起業資料集と関連文書  
Q-1広島水力発電所基本資料  
(13) 広島郷土研究会古文書部会  
平成24年度県史協呉地方大会開催  
企画書(案)／事務局報告と願  
い／古文書部会の報告／会報  
100号までの合本予約受付中／



例会の主な感想／3月度の県内  
歴史企画展紹介 加藤友三郎展  
／新年互礼貝の報告／第101回  
例会のお知らせ

◆わが町三原 みはら歴史と観光の会  
〒723-0062広島県三原市本町1-9-27  
福岡幸司方 TEL0848-62-2935 年3600円

◇251 2012.2 B5 12p 100円  
今月の各地  
岩崎弥太郎生家を訪ねて 川上 哲司  
レキカン春のハイキング「中世山  
城の探訪」のご案内 山根 光博  
八幡藪事件の謎(1) 大谷 和弘  
古浜の今昔(3) 山根 光博

◆秦史談 秦史談会  
〒780-0023高知市東秦泉寺283 松本紀郎  
方 TEL088-875-6671 1984年創刊

◇167 2012.2 B5 41p  
表紙説明  
辰・十二支土鈴によせて 松下 政司  
グラヴィア 史蹟めぐり、文化祭、  
ブータン国旗  
続・龍の話あれこれ 広谷喜十郎  
枯野道（俳句） 西方 郁子  
武士の鑑 桐間兵庫利卓 常石 芳英  
桐間氏・加賀野井氏略系図（同補  
足資料） 岩崎 義郎  
ともこの昭和時代(9) 新堀川の  
畔で『土佐の民話』土佐民話の  
会 から） 藤本 知子  
50年前の城東中新聞（『高知新聞』  
より）  
この高知新聞の裏にひそむ一つの  
こと 毛利 俊男  
民権ばあさん物語「馬とはちきん  
さん」(28) 戦争のない世の中

に（「こうち童話」から）  
久米生太子／藤本知子

おかしな考え 山本 龍江  
谷泰山と3 山本 孝男  
信念を貫いた土方久元の系譜(2) 松本 紀郎  
「ローカルジャーナル 秦史談」  
（『高知新聞』より）  
戦史九 勇ましい喇叭手(1) 毛利 俊男  
豊臣秀吉の九州討伐(1) 笹原 保博  
岡村庄造氏拓本集から(28) 岡村 庄造  
第7回秦ふれあいセンター文化祭  
出展作品部門別作品一覧  
◇168 2012.3 B5 51p  
表紙説明  
船中八策・大阪維新八策 松下 政司  
グラヴィア 桂浜水族館、冬の京、  
ドンド焼き  
馬話観音 広谷喜十郎  
冬の京 松下 政司  
三谷の岩石 漫歩 松本 紀郎  
豊臣秀吉の九州征伐(2) 笹原 保博  
岡豊城址の歌 毛利 俊男  
ともこの昭和時代(10) 追手前講  
堂と公民館（『土佐の民話』市原  
麟一郎編 から） 藤本 知子  
土佐路の野口雨情 永国 淳哉  
俳句 母の声 西方 郁子  
龍馬暗殺 見廻組与頭・佐々木只  
三郎 実兄が高知県副知事に 岩崎 義郎  
民権ばあさん物語「馬とはちきん  
さん」(29) 民権ばあさん再び  
上京する（「こうち童話」から）  
久米生太子／藤本知子  
「声ひろば 新しい望構築を  
岸田康彦」（『高知新聞』より）  
秦の昔話 その28 三谷の巻  
谷干城(1) 麦飯の話 永野美智子  
追慕の譜(3) 山田一郎さんと 山本華与子

「ローカルジャーナル 秦史談」  
（『高知新聞』より）  
戦史10 勇ましい喇叭手(2)  
一木口小平 毛利 俊男  
戊辰戦争こぼれ話 戦火を免れた  
日光(2) 板垣退助登場 松本 紀郎  
岡村庄造氏拓本集から(29) 岡村 庄造

## 九州・沖縄

◆年報 太宰府学 太宰府市市史資料室  
〒818-0132福岡県太宰府市国分4-9-1 太宰  
府市文化ふれあい館内 TEL092-921-2322  
2007年創刊 dasaifu.mma.co.jp

◇6 2012.3 A4 90p  
齋藤利圓研究(1) 橋富 博喜  
齋藤利圓像―千厓筆二件と自画像  
八尋 和泉  
大内氏の筑前国御笠郡代・岩屋城  
督―千手興国を中心に 三村 講介  
太宰府市史編さんの概要 重松 敏彦  
九州探題関係文献目録―一色範氏  
・一色直氏・足利直冬・斯波氏  
経・渋川義行・渋川満頼以降  
川添昭二／朱雀信城

◆末盧国 松浦史談会  
〒847-0824佐賀県唐津市神田2118-1  
TEL0955-73-3549 年2000円 1962年創刊

◇189 2012.3 B5 20p  
木造阿弥陀如来立像 竹下 正博  
唐津の地域民が守ってきた文化財  
(4)一唐津「やきもの」の里・  
相知 岸岳唐津の佐里三古窯―  
相知編(3) 中里 紀元  
唐津から発信しよう！「日本の  
食文化」を世界無形文化遺産に  
堀川 義英

考古学における唐津地方研究の成  
果(21) 時代の証 石鋸(1) 田島 龍太  
古文書史料「朝鮮陣留書」(2) 濱口 尚美  
相知文書考察(2) 塚本 三郎  
秀島鼓溪について(3) 嶺川 隆敏  
武寧王が継体天皇に贈った隅田八  
幡人物画像説とは 熊本 典宏  
事務局日より

◆嶺南風土記 有家町史談会  
〒859-2203長崎県南原島原市有家町尾上  
2031-6 山田泰造方 TEL0957-82-0037  
1994年創刊

◇19 2012.2 A4 136p 1000円  
表紙 婚礼 柏本 龍太  
幻日 原城攻防絵図「夢回廊」(1)  
市川 森一  
市川森一先生を悼む 小崎 侃  
寛政4年島原大変と宗教界 根井 浄  
今年の毎日書道展 井上 星峰  
有馬晴信・ジュスタ 原田 博二  
江戸期軍記読み物「天草軍記」(5)  
肥前国嶋原領一揆発端の事 山田 泰造  
二十六聖人の殉教とその影響

デ・ルカ・レンゾ  
メジロの思い出 馬場 伯明  
日本における初期キリシタン時代  
の墓碑(2)―とくに日本伝統の  
墓石から見たキリシタン墓碑の  
特異性とその造立次期について  
大石 一久  
郷土を愛する古文書蒐集家 荒木  
善喜氏への返簡 江越 直記  
原城一揆戦への試論 福田 八郎  
「温泉山信仰」知見 林田津誉毅  
村の青年団 本多 照光  
有馬義貞と有家の湯治場 中村 季彦  
長野名・相川家本家の思い出 金子憲太郎

私と版画との出逢い 伊藤 大吉  
 島原手延べそうめんのルーツは、  
 福建省か 嶋田惣二郎  
 僕、光平です 鳥居 純毅  
 修験道とキリシタン遺物 伊東 豪健  
 16世紀有家セミナリヨ銅版画の研  
 究(3) 有家版銅版画「セビリ  
 アの聖母」の形状に関する考察  
 生駒 輝彦

有家史談会の歴史探訪について／  
 コレジオ文化講座気軽な意見交  
 換の場

◆鹿児島民具 鹿児島民具学会  
 〒897-0004鹿児島県南さつま市加世田内山  
 田6278 G-101 井上賢一方  
 年2500円 1980年創刊

◇24 2012.3 B5 100p  
 《屋久島特集号》  
 序 『鹿児島民具』第24号刊行に

寄せて 有村 澄子  
 食生活具から見た屋久島の文化 對馬 秀子  
 屋久島の今と昔 有村 澄子  
 屋久島民俗調査

一志戸子・楠川・船行・栗生 牧島 知子  
 楠川の「石垣」・「生垣」・「石塔」・  
 「水神様」 渡山 恵子  
 志戸子地区の「小屋」の分布と役

割について 磯 寿人  
 平内の民具と一湊・吉田のサババ  
 シ工場 下野 敏見  
 屋久島の漁業と海上交通 徳留 秋輝

屋久島の運搬具を訪ねて 井上 賢一  
 屋久島を訪ねて一信仰と伝説 中島 俊郎  
 楠川の「岳参り」信仰 對馬秀子／渡山恵子  
 春牧オデラの石塔をめぐって一屋

久島・種子島の古石塔分類 下野 敏見  
 屋久の竹二種について 濱田 甫

屋久島の林業と屋久島憲法 牧 洋一郎  
 屋久島の竜蛇の話覚書(1) 本田 碩孝  
 屋久島の民具協働調査実施概要  
 学会記事  
 表紙写真 先島丸(屋久島町歴史  
 民俗資料館蔵) 井上 賢一  
 口絵 屋久島の運搬具 井上 賢一  
 口絵 栗生共同墓地 牧島 知子

◆沖縄研究ノート  
 共同研究一南島における民族と宗教  
 宮城学院女子大学キリスト教文化研究所  
 〒981-8557仙台市青葉区桜ヶ丘9-1-1  
 TEL022-277-6210 1992年創刊  
 www.mgu.ac.jp/~kiriken/

◇21 2012.3 B5 52p  
 公開講演会 古代日本と朝鮮、そ  
 して琉球一葬制(火葬、散骨)の  
 展開 大飼 公之

明治官僚の見た沖縄一尾崎三良  
 「沖縄県視察復命書」の叙述か  
 ら 割田 聖史  
 紹介 瀬長瞳、内村千尋著『生き

てさえいれば』(沖縄タイムス  
 社、2010年) 今林 直樹  
 服部四郎の来沖一『服部四郎 沖  
 縄調査日記』を読む 今林 直樹

◆宮古郷土史研究会会報  
 〒906-0013沖縄県平良市下里1223-8  
 下地和宏気付 TEL0980-72-9963

◇189 2012.3 B5 6p  
 3月定例会レジュメ 「一八七一年  
 八瑤湾琉球人事件 一四〇年歴  
 史與還原国際学術検討會」に参  
 加して 久貝 弥嗣

1月例会報告 宮古の説話一三輪  
 山伝承のこと 上原 孝三

「番字」「和字」の解釈で議論  
 一2月定例会を終えて 下地 和宏  
 第4回沖縄県立博物館・美術館「移  
 動展 in 宮古」第20回企画展  
 「さんしん展」の紹介 砂川 史香  
 『建国記念の日』を考える みや  
 こ九条の会で「つどい」催す 仲宗根將二  
 真喜屋浩『私の回顧録 初一念一  
 筋に』 仲宗根將二

## 寄贈図書紹介

◆流れる五戸川 続22  
 ふるさとの歴史ある風景  
 三浦榮一著 (〒039-0168 青森県三戸郡五戸  
 町字一本木5-1 電話0178-62-3463) 2011年12  
 月 B5 162頁

2010年12月に刊行された続21集につづき、青  
 森県五戸町の『広報五戸』に連載された「ふ  
 るさとの歴史ある四十八景」と「ふるさとの  
 史跡」の追跡調査をまとめる。ふるさとの歴  
 史ある風景／消えゆく先祖の足跡／参考資料  
 (桜に夢を求めて、口説 八幡宮の金比羅大  
 権現、古堂の延命寺88年のあゆみ、故郷の川  
 に光を求めて、五戸地方の社会年表、五戸テ  
 レビ共同受信組合四十周年記念、五戸まつり  
 風景あれこれ、おらが町の文化財めぐり一五  
 戸小四年Cグループ)

◆人と動物の近代 絵はがきのなかの動物た  
 ち 東北一万年のフィールドワーク5  
 東北芸術工科大学東北文化研究センター編・  
 刊 (〒990-9530 山形県山形市上桜田3-4-5  
 TEL023-627-2168) 2011年9月 B5 67頁

文部科学省オープン・リサーチ・センター整  
 備事業「東北地方における環境・生業・技術  
 に関する歴史動態的総合研究」として取り組  
 んでいる「映像アーカイブの高度な活用に関  
 する研究」の報告書第5集。はじめに(岸本誠

司)／鯨一とるのも食べるのもげいのうち(中  
 村只吾)／鳥と人との関わり(竹原万雄)／日  
 本人の暮らしとネコの座(今石みぎわ)／犬一  
 永きにわたるつきあい(蛭原一平)／鵜と鵜飼  
 いの民俗(今石みぎわ)／ウサギのいる風景  
 (田口洋美)／馬のいる風景(入間田宣夫)／シ  
 カ一聖なる声のゆくえ(蛭原一平)／クマ一森  
 の王(田口洋美)／絵はがきにみる樺太の動物  
 たち(福田正宏)／中国の「龍」と「鳳」(謝  
 黎)／サルと芸能(田口洋美)／日本近代サー  
 カスの幕開け一来る来るサーカス(井筒桃子)  
 ／上野動物園の近代(内藤正敏)

◆五味沢 東北一万年のフィールドワーク6  
 チーム「あるく・みる・きく」編 東北芸術  
 工科大学東北文化研究センター刊 (〒990-  
 9530 山形県山形市上桜田3-4-5 TEL023-627-  
 2168) 2011年12月 B5 47頁

文部科学省オープン・リサーチ・センター整  
 備事業「東北地方における環境・生業・技術  
 に関する歴史動態的総合研究」として取り組  
 んでいる「映像アーカイブの高度な活用に関  
 する研究」の報告書第6集。集落の景観(五  
 味沢鳥瞰図、樋倉鳥瞰図、徳網鳥瞰図)／五  
 味沢のあらまし(相澤彩夏)／木地作り(阿部  
 さやか)／山と川の恵み(菅野亜由美・宇部め  
 ぐみ)／山と生きる(川崎那悠)／稲作の過去  
 と現在(阿部さやか)／座談会 五味沢を語る  
 ／資料 五味沢集落図、樋倉集落図、徳網集  
 落図、出戸集落図、五味沢地区狩猟採集物リ  
 スト

◆信州秋山郷 小赤沢  
 東北一万年のフィールドワーク7  
 チーム「あるく・みる・きく」編 東北芸術  
 工科大学東北文化研究センター刊 (〒990-  
 9530 山形県山形市上桜田3-4-5 TEL023-627-  
 2168) 2012年3月 B5 47頁

文部科学省オープン・リサーチ・センター整  
 備事業「東北地方における環境・生業・技術

に関する歴史動態的総合研究」として取り組んでいる「映像アーカイブの高度な活用に関する研究」の報告書第7集。概要一秋山郷のあらまし(清野翔子)／小赤沢集落図／攻めてくる森一小赤沢の事例(田口洋美)／木を語る(高橋里奈)／獣を追う(大泉渉)／狩猟採集物リスト／朝は、アンボ(清野翔子)／子どもの頃(阿部さやか)／訪れる人々(阿部さやか)／小赤沢の現在(阿部さやか)

#### ◆木造和船 東北篇

東北一万年のフィールドワーク7  
チーム「あるく・みる・きく」編 東北芸術工科大学東北文化研究センター刊 (〒990-9530 山形県山形市上桜田3-4-5 TEL023-627-2168) 2012年3月 B5 47頁  
文部科学省オープン・リサーチ・センター整備事業「東北地方における環境・生業・技術に関する歴史動態的総合研究」として取り組んでいる「映像アーカイブの高度な活用に関する研究」の報告書第8集。はじめに(角田美里)／イソブネ 青森県下北半島／マルキ 秋田県八峰町八森／カタブネ 秋田県八郎潟／シマブネ 山形県酒田市飛鳥／マルキブネ 秋田県男鹿半島／最期の丸木舟 秋田県男鹿半島戸賀／座談会「海からみた東北」

#### ◆歴史遺産を未来へ

東北アジア研究センター報告3  
平川新・佐藤大介編 東北大学東北アジア研究センター (〒980-8576 仙台市青葉区川内41) 2011年12月 B5 99頁  
序(佐藤大介)／古文書を千年後まで残すための取り組み(平川新)／歴史学における過去の清算一仙台版「古文書返却の旅」(佐藤大介)／「学・官・民」連携による資料保全一くりでん資料保全の現在(蝦名裕一)／千葉県における文化財救済ネットワークシステムの構築と課題(新和宏)／地域に遺された資料の保存活動の実践と課題一伊豆と甲州から(西村慎

太郎)／コメント1(菅野正道)／コメント2(久留島浩)／全体討論(司会 奥村弘)／編集を終えるにあたって(平川新)

#### ◆地域を知る 地域に学ぶ一「福島学」総論

A C F 福島学シリーズ1  
清水修二編 アカデミア・コンソーシアムふくしま (〒960-1296 福島県福島市金谷川1 福島大学大学連携センター内 TEL024-548-5295) 2012年3月 A5 119頁  
はじめに一いま「地域」がおもしろい(清水修二)／序章 いま「地域」を学ぶ意味(清水修二)  
第一章 福島の地域学 まえがき／『会津学』と「会津学研究会」(遠藤由美子)／いわき地域学会の地域学(夏井芳徳)／随想 白河学雑感(渡辺友彦)  
第二章 ふくしまを知る(トピックス福島) まえがき／電力県ふくしま(清水修二)／福島の自由民権運動(吉村仁作)／尾瀬(星一彰)／ふくしまの食文化(平出美穂子)／福島の文学(菅野俊之)  
第三章 地域の学び方 まえがき／地域学への第一歩(高橋充)／地域の調べ方(菅家博昭)／福島大学における事例 地域環境論ゼミが実践する地域の学び方(西崎伸子)、地域づくり支援活動の実践にみる地域の学び方(初沢敏生)、喜多方での清水再生の取り組み(柴崎直明)／津波被災地域の調査実習実践報告(初沢敏生)  
◆茨城県立歴史館史料叢書15 常陸編年 茨城県立歴史館史料学芸部編 茨城県立歴史館 (〒310-0034 茨城県水戸市緑町2-1-15 TEL029-225-4425) 2012年3月 A5 452頁  
近世後期の常陸の国学者中山信名が、各地に残された古文書から古老の話に至るまで広範な史料を収集し編纂した常陸国の神代から寛永期にかけての編年体の通史「常陸編年」(静嘉堂文庫所蔵)巻31～43(41と42は合本)、計

12冊を収録する。解題(柳橋正雄)

#### ◆近世海運民俗史研究一逆流 海上の道

胡桃沢勘司著 芙蓉書房出版 (〒113-0033 東京都文京区本郷3-3-13 TEL03-3813-4466) 2012年1月 A5 270頁 3800円  
北前船が活躍した時代の西廻り航路の要所7か所をとりあげ、昆布を中心とした海産物交易の諸相を明らかにする。口絵 柳田国男から胡桃沢勘司宛の葉書／はしがき／松前 発送地の原動力／酒田 西廻り航路の要所／隠岐島 沖乗り航法の支え／壱岐島 北前船と文化伝播／五島列島 南下への要衝／種子島 鹿児島藩と海運／奄美大島 琉球への道之島  
◆国指定史跡 下布田遺跡 調布市教育委員会編 (〒182-0026 東京都調布市小島町3-26-2 TEL042-481-7656) 調布市遺跡調査会刊 (TEL042-481-0308) 2012年2月 A4 6頁  
下布田遺跡の位置と立地／発掘調査と保存の経緯／縄文時代晩期の遺構と遺物／主要遺構／縄文土器が示す東西交流／史跡保護の計画／国指定重要文化財 土製耳飾(模造品)  
◆ゆっくりラジカルに 内田雄造追悼文集 内田雄造先生追悼文集世話人会一同 (〒168-0063 東京都杉並区和泉3-34-23 「モモの部屋」内田方 TEL090-2207-9066・TEL03-5300-0521) 2012年2月 A5 542頁 3000円(送料500円)  
2011年1月26日に急逝した東洋大学教授 内田雄造氏の教育者・研究者・社会運動家としての「生き方と人柄」を偲ぶ追悼文集。  
〔第1部 内田雄造さんの68年間〕  
エッセイ マイライフ「抵抗の都市計画運動」を生きる／論文 抵抗都市計画運動  
〔第2部 内田雄造さんとの思い出〕  
「これが私の原点だから」1942年～1969年  
追悼文 明石益夫／秋本福雄／新井勲／有賀秀彦／ホルヘ・アンソレーナ／石井利彦／猿

渡岱爾・田邊元／石丸紀興／稲垣道子／牛見章／内田祥哉／延藤安弘／太田邦夫／大橋勇造／大村謙二郎／岡本充弘／折原浩／川島宏祥／神田順／工藤洋輔／國松哲生／熊本一規／小澤紀美子／重村力／篠原修／柴田恒秀／鈴木博之／関口トシ／曾田忠宏／柘植秀樹／田部井健二／田部井陽子／坪井善道／陶野郁雄／徳田雅代／土肥博至／中島温子／中田慎介／中村良三／長谷川宏／長谷川紘／服部岑生／早川和男／広原盛明／藤沢靖介／三木哲／水口俊典／三村翰弘／森戸哲／山田智稔／山本忠節／若井康彦／渡辺一正／レポート 住宅について／発言録 東大裁判闘争 内田雄造被告人尋問／エッセイ 東大闘争のなかの梅村先生  
「抵抗の都市計画運動」1970年～1979年  
追悼文 穂山幹夫／明峯哲夫／明峯惇子／朝日透／荒井正敏／在塚礼子／飯吉伸一／池内正一／石川一雄／石澤吉隆／井出幸人／稲本悦三／井上スズ／井野博満／色川大吉／上杉啓／内野公雄／大熊ゆま／太田滋幸／大谷英人／奥富誠／小野寺一成／小野連太郎／和沢秀子／加藤智恵子／鎌田雅人／岸田比呂志／工藤秀美／草野律子／小池伸一／小池晴子／康熙奉／古瀬敏／古山恵一郎／三枝信人・三枝祐輝／佐藤彰宏／佐藤昇／陣内秀信／杉原広子／鈴木悦郎／高井千秋／高木佳子／高橋儀平／高見澤邦郎／田澤則夫／立川作衛／田中雅紀／田中洋一／玉置良子／田村和寿／永田温子／永田まさゆき／双木信行／成瀬恵宏／仁瓶俊介／西村憲一／野田坂伸也／羽柴駿／畠中洋行／濱素紀／林茂樹／原昭夫／雛元昌弘／藤井敏信／藤野珠枝／布野修司／細谷功／古谷暁子／本間義人／前田由紀子／三浦和彦／みぞぶちかずま／森田益子／守屋力臣／柳沢厚／山崎美知子／山本義則／山本義彦／若林祥文／渡辺克志／渡辺文昭／発言録 ライブディスカッション「漂泊と定住のはざ



まで…」より抜粋／抗議文 日本都市計画学会の投稿論文掲載不採用決定に対する抗議文「そして、私自身も変えていきたい」1980年～1989年 追悼文 秋山哲一／浅野聡／朝日向章子／朝日向猛／新井雅久／荒牧澄多／アリフ・ハッサン／石黒哲郎／石田貞／磯村健二／井出建／今井祥二／今上益雄／打田章雄／遠藤一善／遠藤哲人／岡河貞／長田喜樹／小野澤康弘／笠原秀樹／粕谷勝／加藤茂／加藤忠正／金谷勇治／可児一男／加畑誠一／川元祥一／北尾邦伸／木村泰士／キルティ・シャー／小出範夫／小檜山天／小村洋一／西郷真理子／櫻田直樹／佐藤克也／佐藤健二／佐野嗣彦／澤田博／シーラ・パテル／四宮成晴／菅原敏夫／鈴木郁子／関口孝光／瀬口哲夫／田口正／谷敦／辻野五郎九／土田寛／土本基子／友常勉／長澤博英／中村哲也／西山博之／萩原岳／菱山謙二／平山洋介／前田昭彦／松島如戒／村田真／山谷明／若杉幸子／渡邊義明／安相景／Arif Hasan／Kirttee Shah／Sheela Patel／Johan Silas／エッセイ アジアのまちづくりとアンソレーナさんのこと／論文 転換期にある同和地区のまちづくりが今後の日本のまちづくりに示唆すること「まちづくりは弱者のもの」1990年～1999年 追悼文 饗庭伸／秋山修志／飯嶋史恵／井内徹／池谷啓介／伊東克能／居林昌宏／内田青蔵／内田祥士／内山和彦／江田隆三／塩谷貴教／大藏雄之助／大月敏雄／落合明美／小野田拓矢／嵩和雄／柏倉冬香／加藤麻由美／我那覇生芳／神吉優美／川井友二／神田雄一／金秀顯／黒川洸／黒澤透／古賀一人／小瀬博之／後藤直／斎藤洋一／佐藤博美／実川悠太／清水雅子／所澤稔／金弘奎／菅野卓雄／杉浦潤／瀬田史彦／高野賢一／高橋一男／田嶋淳子／谷脇美和／寺川政司／富取信行／友永健三／名取政明／橋本光五郎／服部直明／馬場崇容／久鍋和徳／平佐康裕／保科整／水

村容子／溝尾良隆／葉袋奈美子／峰政克義／宮下裕史／米野史健／尹志守／吉田智弥／吉村輝彦／ヨハン・シラス／論文 まちづくりの新しい展開と課題—基礎自治体における、住民参画の手法を求めて／小論文 大都市の公営住宅行政の改革を「きみならできるよ」2000年～2011年 追悼文 相川晶子／青木勝／青柳聡／天沼昭彦／尼野千絵／安藤淳平／安藤良典／池田千登勢／井上晶子／井上勉／今井勇貴／宇杉和夫／内山和美／大西信也／小川紗百合／小川博央／奥村和正／角藤智津子／上杉彰雄／川澄厚志／倉内あかり／黒沢惟昭／小早川裕子／小林純子／齋藤隆／齋藤錦／坂口正治／櫻井義夫／佐々木康彦／鹿倉三裕／繁成剛／清水範夫／鈴木一義／清野隆／高橋良至／田口太郎／田中薫／谷下雅義／谷正之／玉井綾／千葉信一／富岡勝則／富田一幸／富永哲雄／長島忠美／野澤千絵／濱田甚三郎／速水検太郎／日置雅晴／藤井健史／本間大介／松宮正明／松本昭／横手研治／吉川靖正／和田恵太郎／渡辺斉／エッセイ 熟年の卒業生を院生に迎えて／論文 山古志の素晴らしい生活を継承しよう—山古志の地域マネジメントに関する考察 〔第3部 陽はまた昇る〕 父が残してくれたもの(内田彩)／もう少しだけ同じ時間を(内田拓哉)／出合いの時から別れの日まで(内田良子) 〔第4部 内田雄造さんとのお別れ—通夜及び告別式から〕 葬儀委員長あいさつ(高橋儀平)／弔辞(山本義隆)／弔辞(藤井敏信)／雄造先生(平かおる)／弔辞(山本義彦)／追悼の言葉(穂坂光彦)／弔辞(竹村牧男)／喪主あいさつ(内田良子) 〔第5部 内田雄造さんの足跡〕 エッセイ わが青春をかえた一冊の本／インタビュー 内田雄造氏インタビュー／論文 格差社会の

住宅政策／論文 同和地区のコミュニティデベロップメントの新しい展開—同和对策事業に関わる一連の特別措置法執行後の動向／著者リスト

#### ◆ある兵士の軍隊日記(下)

藤沢市史料集35

藤沢市文書館編・刊(〒251-0054 神奈川県藤沢市朝日町12-6 TEL0466-24-0171) 2011年3月 A5 63頁

日中戦争期からアジア太平洋戦争の初期にかけて、中国南部およびフランス領インドシナ(本書ではベトナム地域)に進駐した部隊の一員であった藤沢市域出身の兵士・小泉が記した日記のうち、昭和16年7月23日から翌17年2月14日までの第2冊目を収録する。解説 兵士・小泉の日記(第二冊目)と記された時代の状況について／兵士・小泉の移動経路略図／凡例／ある兵士の軍隊日記(下)

#### ◆関東大震災と藤沢(上) 藤沢市史料集36

藤沢市文書館編・刊(同上) 2012年3月 A5 157頁

関東大震災時の藤沢町の被災状況とともに児童や教師の作文なども収めた藤沢尋常高等小学校長による震災記録を中心に、鶴沼海岸別荘地で震災を体験した理学士の報告書、亀井野地区・長後地区での体験記、寺社被害調査表を収録する。解説 関東大震災と藤沢(上)(中村修)／『震災誌』(仙田四五郎)[大正13年]／「関東大震災特ニ鶴沼海岸別荘地ニ於ケル状況」(阿部良夫)[大正14年]／「関東大震災」(小倉久武)[昭和55年]／「関東大震災大地震と筆者」(渡貫幾治)[昭和47年]／「藤沢町寺社被害調査表」[大正12年]

#### ◆藤沢山日鑑 別巻 近侍者記録1

藤沢市文書館編・刊(同上) 2011年3月 A5 417頁 3500円

清浄光寺における日誌「藤沢山日鑑」28巻の刊行にひきつづき、遊行寺宝物館所蔵の清浄

光寺伝来記録より、本山の役寮である近侍者が時々必要事項を記録した「近侍者記録」類を刊行する。第1集の本書には、寛政12年(1794)から天保11年(1840)までの5冊を収録する。凡例／公私諸訴末山交代記(寛政12年4月～享和元年12月)／公用記録(文化6年12月～文化12年10月)／公記録(天保2年正月～天保4年3月)／公用控(天保6年8月～9月)／(近侍者記録)(天保8年12月～天保11年8月)／解説 清浄光寺の日鑑類について(酒井麻子)／既刊および刊行予定日鑑類一覧

#### ◆藤沢山日鑑 別巻 近侍者記録2

藤沢市文書館編・刊(同上) 2012年3月 A5 393+129頁 3500円

遊行寺宝物館所蔵の清浄光寺伝来記録「近侍者記録」類のうち天保11年(1840)から嘉永5年までの4冊の「近侍者日鑑」と、内閣文庫蔵「時宗藤沢遊行末寺帳」等5本の時宗末寺帳により作成した「時宗本末帳所載寺院総覧」(東国編)を収録する。凡例／(公私末山交代記録)(天保11年8月～天保13年5月)／公私末山交代記録(天保13年4月～天保15年11月)／公私末山交代記録(天保15年12月～嘉永3年4月)／公私末山交代記録(嘉永3年4月～嘉永5年4月)／解説 時宗本末帳解題(酒井麻子)／付表 時宗本末帳所載寺院総覧(石塚勝編)／付表 時宗各派の国別寺院数

#### ◆白山—越前の修験道

大野市歴史博物館編・刊(〒912-0084 福井県大野市天神町 TEL0779-65-5520) 2007年9月 A4 88頁

大野市歴史博物館の平成19年度秋期特別展図録である。前年度特別展「白山信仰の遺宝を中心に」に続き、泰澄の白山開創発祥の地となる越知山大谷寺から越前馬場平泉寺に至る圏内を中心として、ゆかりの地に残された遺品と遺跡を取り上げる。序章 概説 白山越前の修験道(岩井孝樹)／白山越前の修験道



遺品と遺跡、展示図版、解説・論考 遺品（大谷寺、八坂神社、佛母寺、平泉寺観音堂、洞雲寺、平泉寺白山神社、石川県立歴史博物館、大野市歴史博物館、平泉寺顕海寺、永平寺町教育委員会）、遺跡（禪師峰の「行人窟」と「九字岩」、白山の金山）、九頭龍川水系にひろがる泰澄ゆかりの寺院（白山豊原寺、波著寺、千手寺多門院）

#### ◆岐阜縣地誌 全

岐阜県郷土資料研究協議会（〒500-8368 岐阜市宇佐4-2-1 岐阜県図書館内 TEL05898-275-5111）2012年1月 A5 84頁  
岐阜県教育会による『岐阜縣地誌 全』（明治28年8月24日発行）の影印復刻版。岐阜縣／美濃國／美濃國総説／飛騨國／飛騨國総説／著名ノ山嶽所在地及高サ表／河川ノ水源及流域表／面積、戸数、人口表／郡市役所、裁判所、警察署所在地及所管、所轄表／道路里程表

#### ◆愛知県史 資料編20 近世6 学芸

愛知県史編さん委員会編 愛知県（〒460-0002 愛知県名古屋市中区丸の内3-4-13 愛知県庁大津橋分室 総務部法務文書課県史編さん室 TEL052-972-9171）2012年3月 A5 1006頁 5000円＋送料

平成6年度に着手した新『愛知県史』編さん事業の第14回配本。門人帳や書翰など833点を中心に尾張・三河の文人たちの活動を明らかにする。総合解説／門人帳からみた文化世界（地域文化の交流、地域医療の広がり、国学門人帳、漢学・漢詩門人帳、医学・蘭学門人帳、文芸門人帳、地域教育門人帳）／書翰からみた文化世界（伊藤圭介関係書翰、秦鼎関係書翰、村上忠順関係書翰、国学関係書翰、漢学関係書翰、医学・蘭学関係書翰、文学関係書翰、地域文化人書翰、大坂天満屋敷中西家関係書翰）／出版書画書籍の文化世界（本屋の営業活動、書画目録、書画会、見立番付）／人名注／解説

付録 門人帳データベース（CD-ROM）

〔愛知県史のしおり〕 A5・8頁

学芸編に感謝とお願い（宮地正人）／伊藤圭介と二人の師（幸田正孝）

#### ◆愛知県史 資料編35 近代12 文化

愛知県史編さん委員会編 愛知県（同上）

2012年3月 A5 1010頁 5000円＋送料

1871年（明治4）の廃藩置県から1945年（昭和20）アジア・太平洋戦争終結までの、近代文化の実相を示す資料475点を収録する。総合解説／文学（明治過渡期の文学、近代文学の息吹とその継承者、モダニズムと女性作家、探偵小説の発端とその周辺、子供のための文学、戦時下の文学、戦後の文学を生む人たち、近代詩の歩み、短歌、俳句）／美術（博物館・美術館の歴史、美術教育、美術活動、陶芸、美術展）／音楽（音楽教育、音楽会、音楽団体、音楽産業、放送・新聞等メディアの音楽情報）／芸能（古典芸能、茶道・華道、大衆芸能、民俗芸能／スポーツ（学校教育における課外スポーツ、社会におけるスポーツ活動、武道）／解説 愛知県近代文学史年表

〔愛知県史のしおり〕 A5・8頁

私と文学（梅原猛）／文芸都市としての名古屋（坪井秀人）

#### ◆愛知県史 別編 窯業3

中世・近世 常滑編

愛知県史編さん委員会編 愛知県（同上）

2012年3月 A4 803頁 6500円＋送料

知多半島と渥美半島に分布する中世の窯跡と県内の近世の諸窯跡を豊富な図版とともに紹介する。総論（序説、渥美窯、常滑窯、尾張・三河の諸窯）／主要窯跡解説（渥美窯 24、常滑窯 67、尾張・三河の諸窯 5）／消費遺跡解説（渥美窯製品、常滑窯製品）／特論（押印・刻文、刻画文、窯体構造）／編年表／窯跡一覧表／用語解説／口絵写真解説／付図 窯跡位置図

〔愛知県史のしおり〕 A5・8頁

頭長銘壺に込められた祈り（五味文彦）／アジアにおける宝瓶信仰の広がりの中世の壺・瓶（荒川正明）

#### ◆藤堂高虎関係資料集 補遺

三重県史資料選書5

三重県編・刊（〒514-0006 三重県津市広明町13 三重県生活・文化振興室 県史編さんグループ TEL059-224-2057）2011年3月 A5 349頁

『三重県史』編さん事業の一環として資料編「近世1」に収録した以外にも多数確認されている藤堂高虎の関係文書695点（追補7点）を収録する。文書編 県内所在文書／県外所在文書（宮城県、山形県、茨城県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、石川県、岐阜県、静岡県、愛知県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、和歌山県、広島県、山口県、愛媛県、高知県、福岡県、佐賀県、熊本県、大分県、『大日本古文書』所収文書、『大日本近世史料』所収文書、個人所蔵・所蔵者不明文書）／記録所収文書編／総合解説・史料解題／追補

#### ◆講演会「行基さんと堺・泉州」

堺行基の会編・刊（〒599-8266 大阪府堺市中区毛穴町462-8 吉田方 TEL072-271-5972）2008年9月 B5 34頁

堺行基の会・堺市文化団体連絡協議会主催により、平成20年9月28日（日）に開催された平成20年堺市民芸術祭参加講演会の報告集。忍性の社会的実践一行基の後継者（宮城洋一郎）／行基と神祇（森明彦）／行基と鶴田池・久米田池の建設（吉田靖雄）／資料 行基の生涯年表、『行基年譜』に見える四十九段、四十九院分布図、行基が造営修理した農業関係施設・行基が造営修理した交通関係施設、行基の歴史資料

#### ◆講演会「行基さんを考える」

一大野寺と土塔の問題点

堺行基の会編・刊（〒599-8266 大阪府堺市中区毛穴町462-8 吉田方 TEL072-271-5972）2009年10月 B5 34頁

堺行基の会・堺市文化団体連絡協議会主催により、平成21年10月25日（日）に開催された平成21年堺市民芸術祭参加講演会の報告集。大野寺創立期の政局と行基（吉田靖雄）／土塔の建立と行基の知識集団（近藤康司）／土塔人名瓦を考える－一人名表記が意味するもの（宮城洋一郎）／資料 行基の生涯年表、『行基年譜』に見える四十九段、四十九院分布図、行基が造営修理した農業関係施設・行基が造営修理した交通関係施設、行基の歴史資料

#### ◆講演会「行基さんを考える」

堺行基の会編・刊（〒599-8266 大阪府堺市中区毛穴町462-8 吉田方 TEL072-271-5972）2010年10月 B5 40頁

堺行基の会・堺市文化団体連絡協議会主催により、平成22年10月24日（日）に開催された平成22年堺市民芸術祭参加講演会の報告集。考古学と文献史学の行基四十九院（吉田靖雄）／土塔の建立と行基の知識集団（若井敏明）／行基と東大寺大仏（宮城洋一郎）／資料 行基の生涯年表、四十九院分布図、行基が造営修理した農業関係施設・行基が造営修理した交通関係施設、『行基年譜』に見える四十九段、行基の歴史資料

#### ◆講演会「行基さんを考える」

堺行基の会編・刊（〒599-8266 大阪府堺市中区毛穴町462-8 吉田方 TEL072-271-5972）2011年10月 B5 40頁

堺行基の会・堺市文化団体連絡協議会主催により、平成23年10月23日（日）に開催された平成23年堺市民芸術祭参加講演会の報告集。行基の弟子集団について（吉田靖雄）／『行基年譜』を読み直す（鈴木景二）／光明皇后の福祉事業（宮城洋一郎）／資料 行基の生涯年表、

四十九院分布図、行基が造営修理した農業関係施設・行基が造営修理した交通関係施設、『行基年譜』に見える四十九段、行基の歴史資料

#### ◆兵庫県学童疎開関係史料集成2

尼崎市浜国民学校石像寺寮篇  
人見佐知子編 甲南大学人間科学研究所（〒658-0072 兵庫県神戸市東灘区岡本8-9-1 TEL 078-435-2683）2011年3月 A5 171頁  
文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業に採択された「現代人の心の危機の見極めと、その実践的解決のためのネットワークの形成」を目的とする共同研究プロジェクトの一環として甲南大学人間科学研究所が収集した兵庫県学童疎開に関する史(資)料の調査報告集。本書には、兵庫県尼崎市浜国民学校の疎開先のひとつであった石像寺寮(兵庫県丹波市市島町中竹田)で作成された三冊の書類綴から、主な公文書を編集して収載する。

『公文書綴』(抄)／『領収書綴』(抄)／『精算書』(抄)／『物品購入簿』／『疎開教育ニ関スル書類』(抄)／解題—史料にみる尼崎市浜国民学校の学童集団疎開(人見佐知子)

#### ◆山田方谷の師友・門人

朝森要著 日本文教出版（〒700-0016 岡山市北区伊島町1-4-23 TEL086-252-3175）2011年9月 B6 171頁 1800円  
山田方谷にまつわる門人などの人物をとりあげた前著『山田方谷とその門人』(1999年)をうけて、恩師・交友を中心に方谷の人間関係についてまとめる。山田方谷素描／師友（寺島白鹿、丸川松隠、佐藤一斎、奥田楽山、木山楓溪、阪谷朗廬、東沢瀉）／門人（莊田霜溪、原田一道、福西志計子、中村月台、鎌田玄溪、川田甕江、その他の門人たち 中村鷺峰・田淵松谷・青木石圃・明石夕山・井出毛三）／付録（方谷山田先生墓碣銘、山田方谷宛丸川松隠の書簡）

#### ◆後記

愛書家と古書業界向けの月刊情報誌「日本古書通信」（日本古書通信社、1934年創刊）2011年5月号掲載の「東日本大震災と古書店—被災地福島県を訪ねて」は、同誌編集部の折付桂子さんが、震災直後に単身バイクを飛ばして福島県内を回り、惨状をつぶさに観察すると共に古書店主の生々しい声を聞き出した迫真のルポルタージュである。この種の記録としては出色のものと思う。その後の経過が、本年5、6月号に「震災後1年レポート 福島・宮城の古書業界(上、下)」として発表されている。今回もバイクだという。客を取り戻し盛業の店もないわけではないが、多くは激減、店売りを諦めてネット販売に切り替えた店、体調を崩した店主など、瓦礫は撤去されたがただそれだけで何も進まない辛い現況が語られる。アマゾン・ヤオフクに出品したところ、放射能の付いた本を売ると電話で怒鳴られ、着払いで返送された話しには心が痛む。しかし、同業者で助け合い、本の力を信じて客に繋げていきたいという心意気が随所に感じられることに救われる。折付さんに触発され、6月初旬、山梨・日野春アルプ美術館の鈴木伸介さんと相馬市、宮城県亘理町などを歩いてきた。併せて観た福島県立図書館「東日本大震災福島復興ライブラリー」の役場移転を余儀なくされている市町村の歴史展示コーナー、アメリカからの借用作品が総て引揚げられた県立美術館「ベン・シャーン クロスメディア・アーティスト」展も感銘深いものであった。あらゆる所で、震災、東電原発被害の深い爪痕を感じさせられた。この小旅行では、本号図書欄掲載『地域を知る 地域に学ぶ—「福島学」総論』執筆者の一人、元福島県立図書館 菅野俊之さんに一方ならぬお世話になった。（飯澤）

地方史情報 110 2012年(平成24年)8月 発行 <http://www.iwata-shoin.co.jp>  
定価0円(送料90円) 年間購読料 税込1000円(送料として) 振替口座00100-2-564137  
発行所：岩田書院 〒157-0062 東京都世田谷区南烏山4-25-6-103 TEL03-3326-3757